令和８年度

第２回　市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書課

1　アンケートの概要

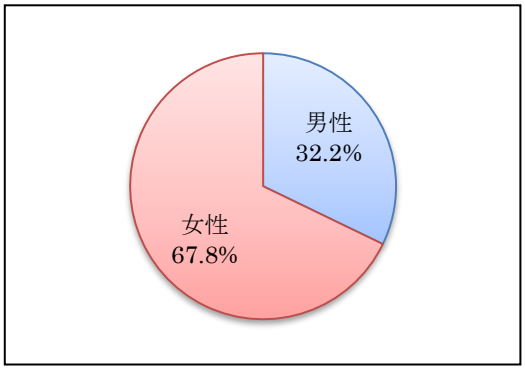
調査対象者　　令和８年度 市政モニター　１９９人
調 査 期 間　　令和８年９月１日（火）～令和８年９月１５日（火）
調 査 方 法　　郵送またはインターネット
テ　ー　マ　　③ 喫煙について
④ 住友山田社宅の保存・活用について
⑤ スポーツについて
⑥ 新居浜市民の健康意識に関する調査について
回　答　率

テーマ	モニター数（人）	回答者数（人）	回答率
③	199	185	93.0%
④	199	177	88.9%
⑤	199	174	87.4%
⑥	199	168	84.4%

2　市政モニター内訳（※令和８年９月１日時点）

〈性別〉　　（単位：人）

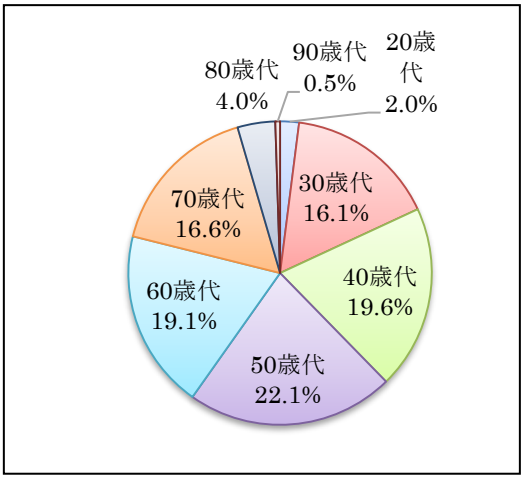
男性	64 (32.2 %)
女性	135 (67.8%)
合計	199 (100.0%)



〈年代別〉　　（単位：人）

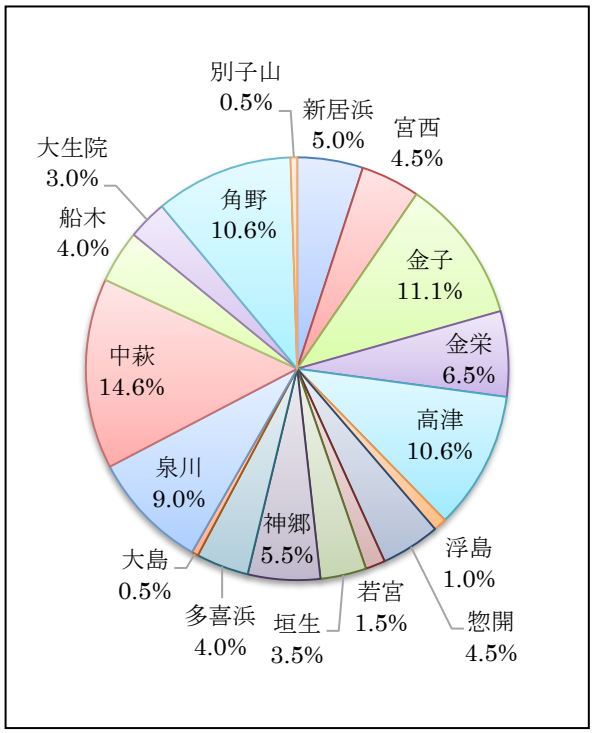
	男性	女性	合計
20 歳代	1	3	4 （ 2.0%）
30 歳代	4	28	32 （16.1%）
40 歳代	7	32	39 （19.6%）
50 歳代	12	32	44 （22.1%）
60 歳代	14	24	38 （19.1%）
70 歳代	21	12	33 （16.6%）
80 歳代	4	4	8 （ 4.0%）
90 歳代	1	0	1 （ 0.5%）

※年齢は令和８年４月１日時点



〈居住地域別〉　　（単位：人）

	男性	女性	合計
新居浜	3	7	10（　5%）
宮西	2	7	9（ 4.5%）
金子	8	14	22（11.1%）
金栄	1	12	13（ 6.5%）
高津	11	10	21（10.6%）
浮島	2	0	2（　1%）
惣開	1	8	9（ 4.5%）
若宮	0	3	3（ 1.5%）
垣生	4	3	7（ 3.5%）
神郷	2	9	11（ 5.5%）
多喜浜	3	5	8（　4%）
大島	1	0	1（ 0.5%）
泉川	5	14	18（　9%）
中萩	13	16	29（14.6%）
船木	1	7	8（　4%）
大生院	3	3	6（　3%）
角野	3	18	21（10.6%）
別子山	1	0	1（0.5%）



〈回答方法　種別〉

（単位：人）

郵送モニター	55 （27.6%）
Ｅメールモニター	144 （72.4%）
合計	199 （100.0%）

〈選任方法　種別〉

（単位：人）

公民館推薦	43 （22.0%）
公募	156 （78.0%）
合計	199 （100.0%）

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

３　調査結果

テーマ③　喫煙について

【調査趣旨】

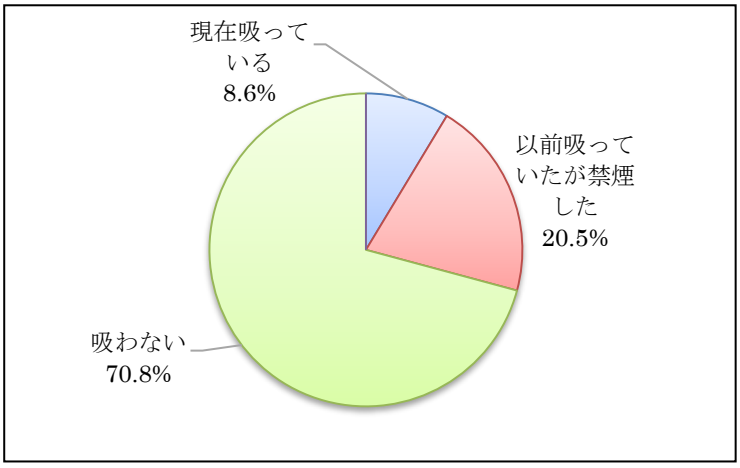
喫煙や受動喫煙の実態を調査し、喫煙行動の背景や健康に対する認識を明らかにすることで、受動喫煙防止および禁煙・減煙支援の在り方を検討し、健康増進を目的とした施策に反映したいと考えておりますので、アンケートに御協力をお願いします。

（担当課：健康推進課（保健センター））

（※問１はモニター属性特定のための設問であり、省略）

問２．あなたはたばこを吸いますか。（１つ選択）【必須】

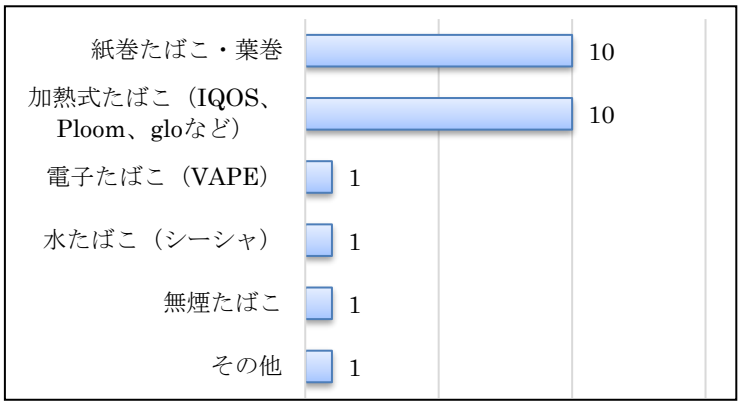
１．現在吸っている	16 人
２．以前吸っていたが禁煙した	38 人
３．吸わない	131 人
無回答	0 人
合　計	185 人



「３．吸わない」（131 人）と答えた方が最も多く、次いで「２．以前吸っていたが禁煙した」（38 人）、「１．現在吸っている」（16 人）という結果となっています。全体の約７割（70.8%）の方がたばこを吸わないと回答しており、禁煙した方を含めると約９割（91.4%）の方が現在は喫煙していないことが分かりました。

問３．問２で「１．現在吸っている」を選択した方にお伺いします。どのようなたばこを吸いますか。（複数選択）

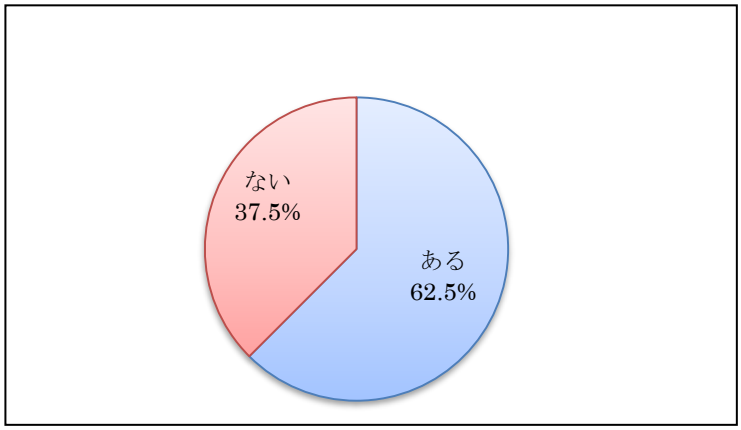
１．紙巻たばこ・葉巻	10 人
２．加熱式たばこ（IQOS、Ploom、glo など）	10 人
３．電子たばこ（VAPE）	1 人
４．水たばこ（シーシャ）	1 人
５．無煙たばこ	1 人
６．その他	1 人



「１．紙巻たばこ・葉巻」（10 人）と「２．加熱式たばこ（IQOS、Ploom、glo など）」（10 人）が最も多く、現在喫煙している方の多くはこれらを利用していることが分かりました。その他の選択肢はいずれも１人という結果でした。

問４．過去に禁煙を試みたことがありますか。（１つ選択）

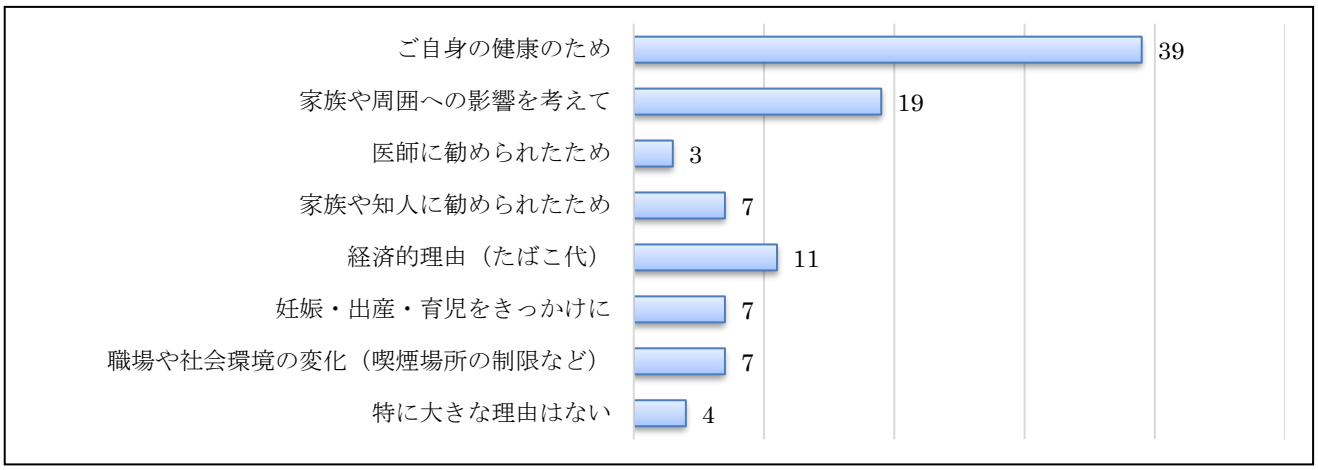
１．ある	10 人
２．ない	6 人



「１．ある」（10 人）と回答した方が多く、現在喫煙している方の半数以上が、過去に禁煙を試みた経験があることが分かりました。

問５．問２で「２．以前吸っていたが禁煙した」または、問４で禁煙を試みたことが「１．ある」を選択した方にお伺いします。禁煙しようと思ったきっかけを教えてください。（複数選択）

１．ご自身の健康のため	39 人
２．家族や周囲への影響を考えて	19 人
３．医師に勧められたため	3 人
４．家族や知人に勧められたため	7 人
５．経済的理由（たばこ代）	11 人
６．妊娠・出産・育児をきっかけに	7 人
７．職場や社会環境の変化（喫煙場所の制限など）	7 人
８．特に大きな理由はない	4 人



「１．ご自身の健康のため」（39 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．家族や周囲への影響を考えて」（19 人）、「５．経済的理由（たばこ代）」（11 人）という結果となっています。禁煙を考えるきっかけとしては、自身の健康への意識が最も大きな理由であることが分かりました。

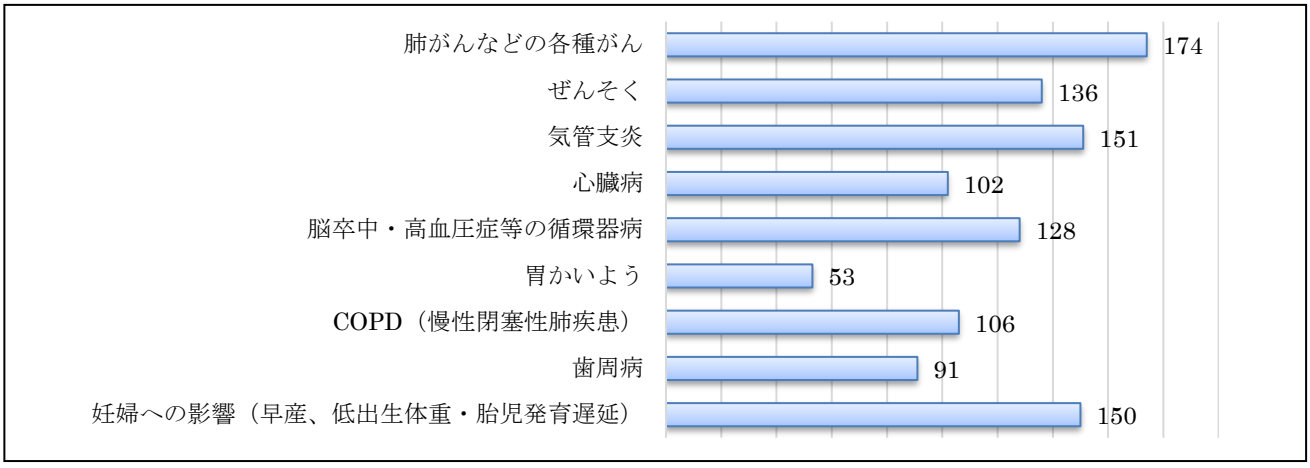
問６．再喫煙に至った理由をお聞かせください。（禁煙を継続されている方は問７にお進みください。）（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

・ストレス（２件）
・心が休まる。
・嗜好品のひとつとして継続しているが、禁煙しようとする意識が逆にストレスにつながった。
・欲しくなったから。
・身体と自分自身が我慢できなかった。意思の弱さだと思う。（２件）
・特に辞めている理由が無くなったため
・途中で薬がなく禁煙治療が中断したから。
・禁煙外来までは行ってないが、周囲にそれで失敗した者もいる。
・家では換気扇の前で可能な限り家族に影響を及ぼさないように配慮はしている。

問７．たばこにより影響を受けると思うものを全て選択してください。（複数選択）【必須】

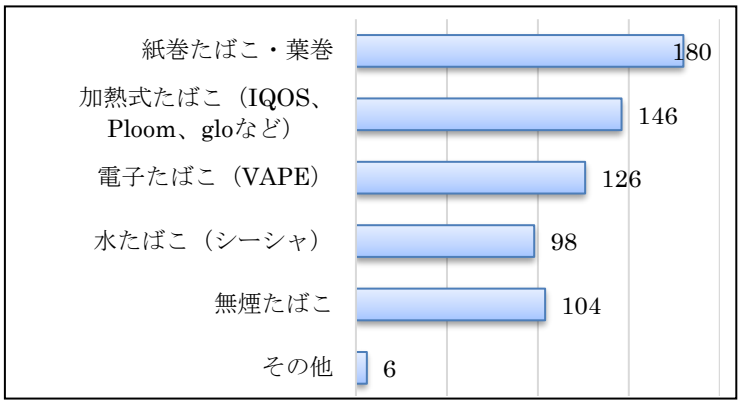
１．肺がんなどの各種がん	174 人
２．ぜんそく	136 人
３．気管支炎	151 人
４．心臓病	102 人
５．脳卒中・高血圧症等の循環器病	128 人
６．胃かいよう	53 人
７．COPD（慢性閉塞性肺疾患）	106 人
８．歯周病	91 人
９．妊婦への影響（早産、低出生体重・胎児発育遅延）	150 人



「１．肺がんなどの各種がん」（174 人）が最も多く、次いで「３．気管支炎」（151 人）、「９．妊婦への影響（早産、低出生体重・胎児発育遅延）」（150 人）という結果となっています。多くの方が、たばこはがんだけでなく呼吸器疾患や妊婦・胎児への影響など、さまざまな健康被害を引き起こすと認識していることが分かりました。

問８．健康に影響があると思うたばこの種類を選択してください。（複数選択）

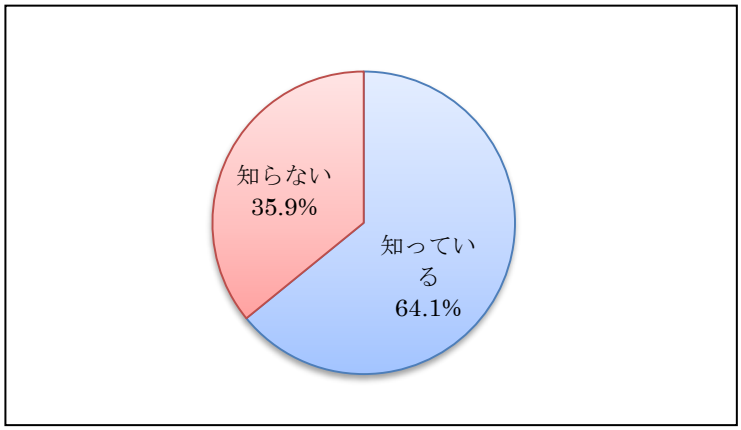
１．紙巻たばこ・葉巻	180 人
２．加熱式たばこ（IQOS、Ploom、glo など）	146 人
３．電子たばこ（VAPE）	126 人
４．水たばこ（シーシャ）	98 人
５．無煙たばこ	104 人
６．その他	6 人



「１．紙巻たばこ・葉巻」（180 人）が最も多く、次いで「２．加熱式たばこ（IQOS、Ploom、glo など）」（146 人）、「３．電子たばこ（VAPE）」（126 人）という結果となっています。紙巻たばこだけでなく、加熱式たばこや電子たばこについても、多くの方が健康への影響があると認識していることが分かりました。

問９．保険診療で禁煙外来を利用できることを知っていますか。（１つ選択）

１．知っている	118 人
２．知らない	66 人

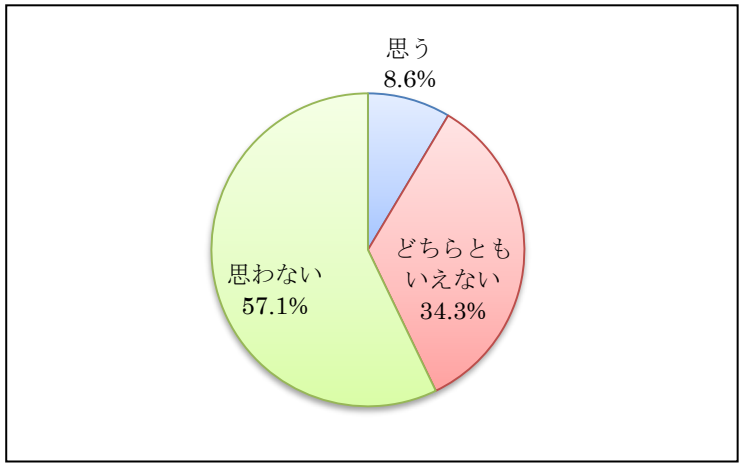


「１．知っている」（118 人）と回答した方が多く、半数以上の方が、保険診療で禁煙外来を利用できることを認知していることが分かりました。

問１０．禁煙外来を利用して禁煙にチャレンジしようと思いますか。（非喫煙者の方は問１１にお進みください。）（１つ選択）

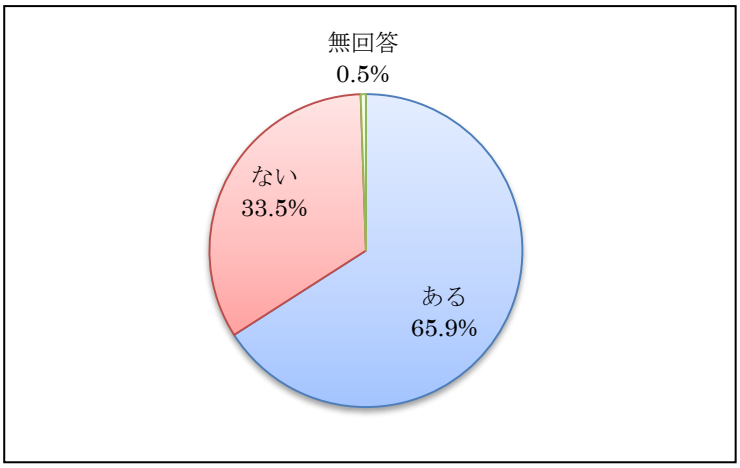
１．思う	3 人
２．どちらともいえない	12 人
３．思わない	20 人

「３．思わない」（20 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．どちらともいえない」（12 人）、「１．思う」（3 人）という結果となっています。禁煙外来の利用については、消極的な意見が多いことが分かりました。



問１１．過去１年間に、受動喫煙を受けた（たばこの先からただよう煙や喫煙者がはき出す煙を、たばこを吸わない人が吸わされた）経験はありますか。（１つ選択）【必須】

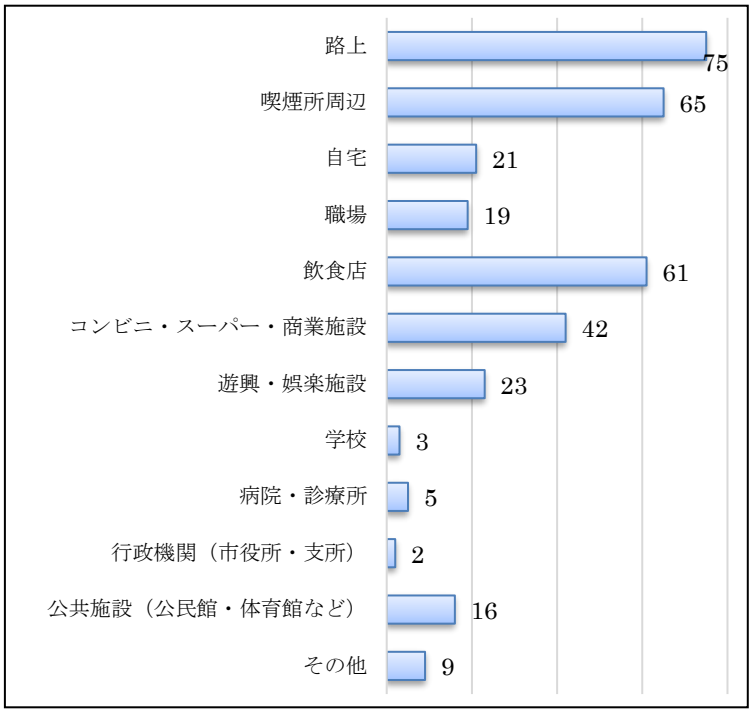
１．ある	122 人
２．ない	62 人
無回答	1 人
合　計	185 人



「１．ある」（122 人）と回答した方が多く、全体の約 7 割の方が、過去 1 年間に受動喫煙を受けた経験があることが分かりました。

問１２．問１１で受動喫煙の経験が「１．ある」を選択した方にお伺いします。受動喫煙を受けた場所はどこですか。　（複数選択）

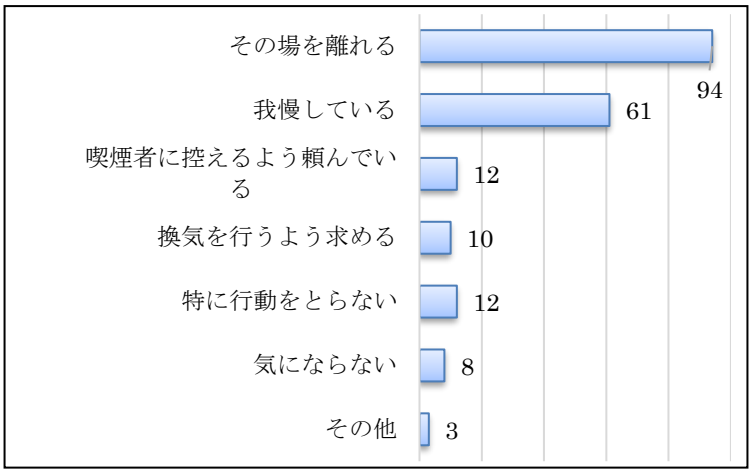
１．路上	75 人
２．喫煙所周辺	65 人
３．自宅	21 人
４．職場	19 人
５．飲食店	61 人
６．コンビニ・スーパー・商業施設	42 人
７．遊興・娯楽施設	23 人
８．学校	3 人
９．病院・診療所	5 人
10．行政機関（市役所・支所）	2 人
11. 公共施設（公民館・体育館など）	16 人
12．その他	9 人



「１．路上」（75 人）が最も多く、次いで「２．喫煙所周辺」（65 人）、「５．飲食店」（61 人）という結果となっています。受動喫煙を受けた場所としては、屋外の公共空間や飲食店が多く挙げられました。

問１３．問１１で受動喫煙の経験が「１．ある」を選択した方にお伺いします。受動喫煙を受けた際に、どのような行動をとっていますか。（複数選択）

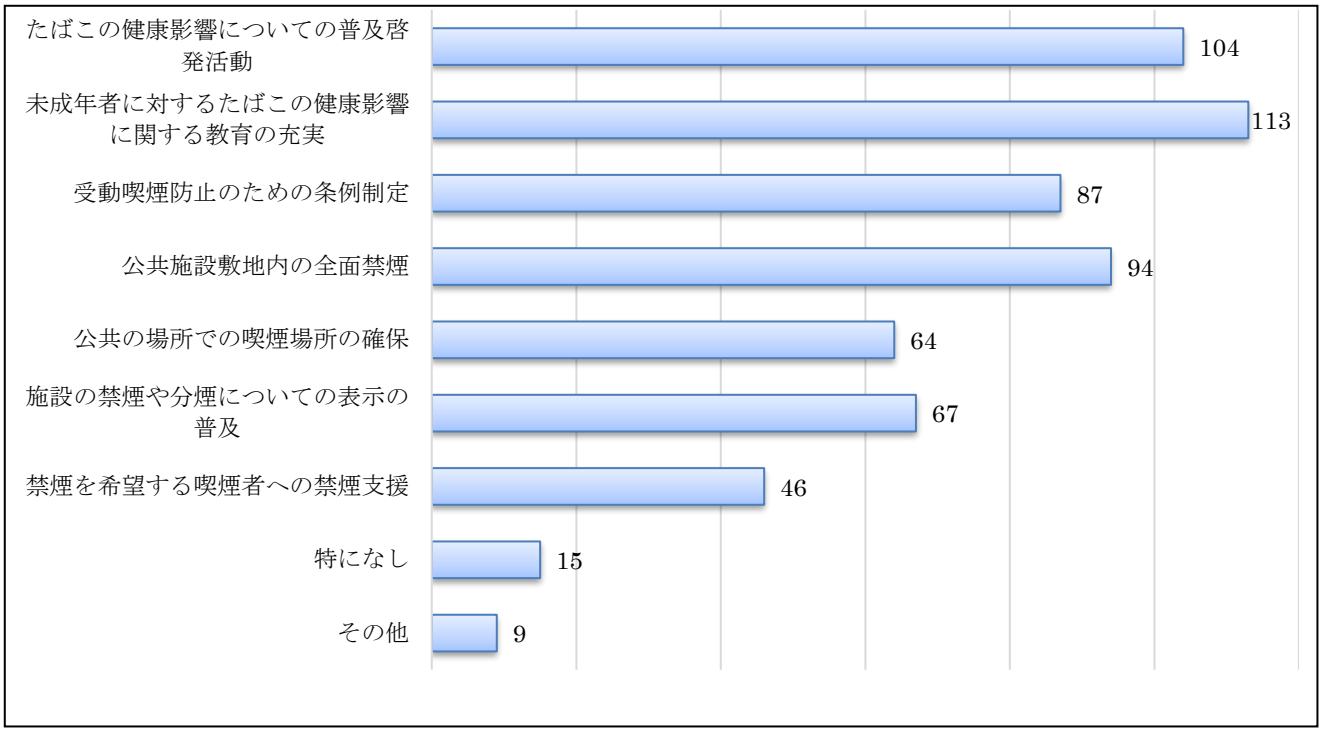
１．その場を離れる	94 人
２．我慢している	61 人
３．喫煙者に控えるよう頼んでいる	12 人
４．換気を行うよう求める	10 人
５．特に行動をとらない	12 人
６．気にならない	8 人
７．その他	3 人



「１．その場を離れる」（94 人）が最も多く、次いで「２．我慢している」（61 人）、「３．喫煙者に控えるよう頼んでいる」（12 人）および「５．特に行動をとらない」（12 人）という結果となっています。受動喫煙を受けた際には、その場を離れたり我慢したりする方が多く、喫煙者へ直接配慮を求める方は比較的少ないことが分かりました。

問１４．行政の行うたばこ対策について、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（複数選択）

１．たばこの健康影響についての普及啓発活動	104 人
２．未成年者に対するたばこの健康影響に関する教育の充実	113 人
３．受動喫煙防止のための条例制定	87 人
４．公共施設敷地内の全面禁煙	94 人
５．公共の場所での喫煙場所の確保	64 人
６．施設の禁煙や分煙についての表示の普及	67 人
７．禁煙を希望する喫煙者への禁煙支援	46 人
８．特になし	15 人
９．その他	9 人



「２．未成年者に対するたばこの健康影響に関する教育の充実」（113 人）が最も多く、次いで「１．たばこの健康影響についての普及啓発活動」（104 人）、「４．公共施設敷地内の全面禁煙」（94 人）という結果となっています。行政に対しては、たばこの健康影響に関する教育や啓発など、健康被害の防止に向けた取組の充実を求める声が多いことが分かりました。

＜まとめ＞

今回のアンケート結果から、市民の多くが喫煙による健康影響について一定の知識を有していることが分かりました。特に、肺がんをはじめとする各種がんや呼吸器疾患、妊婦や胎児への影響については高い認識がみられました。また、喫煙率は 8.6%であり、第 3 次元気プラン新居浜 21 の最終目標値を達成している状況でした。

一方で、現在喫煙している人の多くは過去に禁煙に挑戦した経験があり、禁煙を考えたきっかけとしては、自身の健康や家族への影響が多く挙げられました。しかし、再喫煙の理由としてストレスや自らの意思による禁煙継続の困難さが挙げられていることから、禁煙に対する意欲を持ちながらも継続が容易ではない実態が見受けられました。また、禁煙外来の認知度は一定程度あるものの、利用意向は低く、禁煙支援制度のさらなる周知と利用しやすい環境づくりが課題であると考えられます。

受動喫煙については、過去 1 年間に約 7 割の人が経験したと回答しており、路上や喫煙所周辺、飲食店などの日常生活のさまざまな場面で受動喫煙が生じていることが分かりました。また、受動喫煙を受けた際には、「その場を離れる」「我慢する」と回答した人が多く、自ら回避行動を取る人が多い一方で、喫煙者へ配慮を求める人は少ない状況でした。このことから、個人の対応だけで受動喫煙を防ぐことが難しく、社会全体で受動喫煙を防止する環境整備が求められていることが示唆されました。

行政に求めるたばこ対策としては、「未成年者への教育の充実」「たばこの健康影響に関する普及啓発」「公共施設敷地内の全面禁煙」が多く挙げられました。このことから、市民は喫煙者への対策だけでなく、子どもや若年層への予防教育や健康意識の向上につながる取組を重視していることがうかがえます。

以上のことから、今後は喫煙による健康被害や受動喫煙のリスクに関する継続的な普及啓発に加え、若年層への予防教育の推進、禁煙を希望する人への相談支援や禁煙外来の利用促進、さらには受動喫煙を防止するための環境整備を総合的に進めていくことが重要と考えられます。市民の皆様が喫煙および受動喫煙の健康影響について理解を深め、互いに配慮しながら健康に暮らせる地域づくりを進めていきます。

最後に、本アンケートにご協力いただきました市政モニターの皆様に、心より御礼申し上げます。貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

（担当課：健康推進課（保健センター））

テーマ④　住友山田社宅の保存・活用について

【調査趣旨】

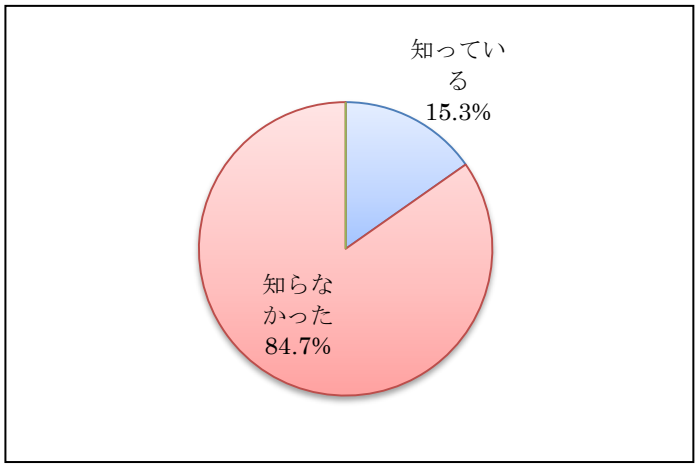
別子銅山産業遺産である住友山田社宅（国登録有形文化財）を保存・活用することで、別子銅山の歴史や価値を後世に継承するとともに、教育や文化の向上、観光の振興に資するための施設とするため、今後の保存・活用方針等についてご意見をお聞かせください。

（担当課：別子銅山文化遺産課）

（※問１はモニター属性特定のための設問であり、省略）

問２．住友山田社宅は毎週日曜日 10：00～12：00（12～3 月は第 2・第 4 日曜日）に限定公開（ガイドによる施設案内付き）しています。知っていましたか。（１つ選択）【必須】

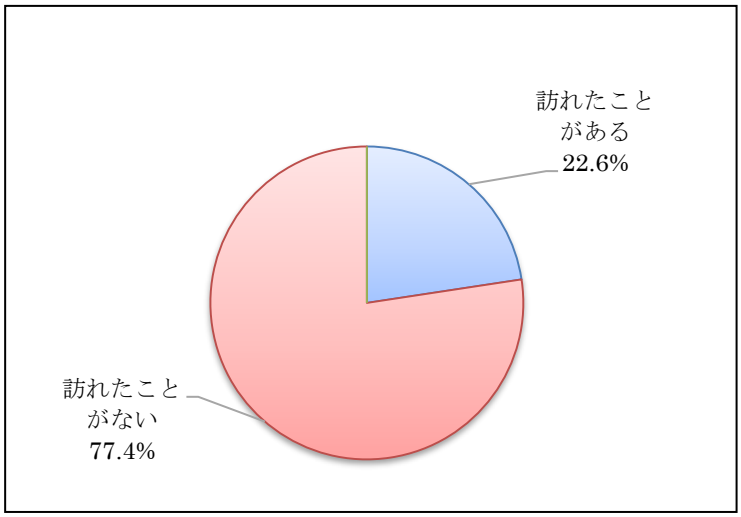
１．知っている	27 人
２．知らなかった	150 人
無回答	0 人
合　計	177 人



「２．知らなかった」（150 人）と回答した方が多く、次いで「１．知っている」（27 人）という結果となっています。住友山田社宅の限定公開については、知らなかった方が多い一方で、一定数の方に認知されていることが分かりました。

問３．これまでに住友山田社宅を訪れたことがありますか。（１つ選択）【必須】

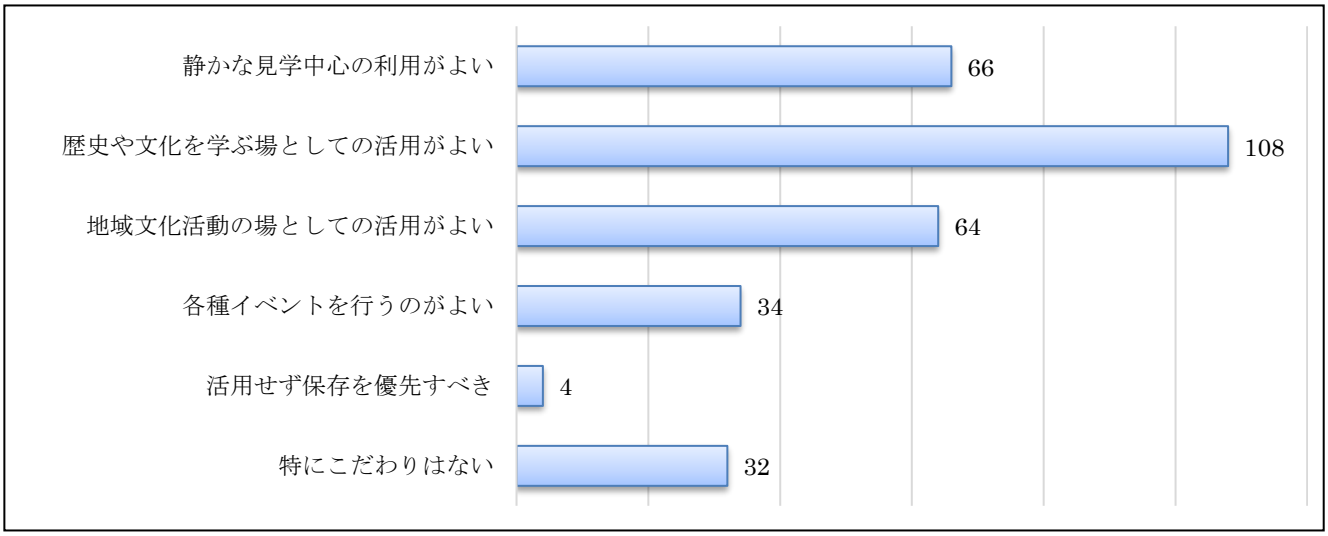
１．訪れたことがある	40 人
２．訪れたことがない	137 人
無回答	0 人
合　計	177 人



「２．訪れたことがない」（137 人）と回答した方が多く、次いで「１．訪れたことがある」（40 人）という結果となっています。住友山田社宅については、訪れたことがある方は全体の約 2 割となっており、来訪経験のある方は少ないことが分かりました。

問４．住友山田社宅の活用のあり方として、どのような方向が望ましいと思いますか。（複数選択）

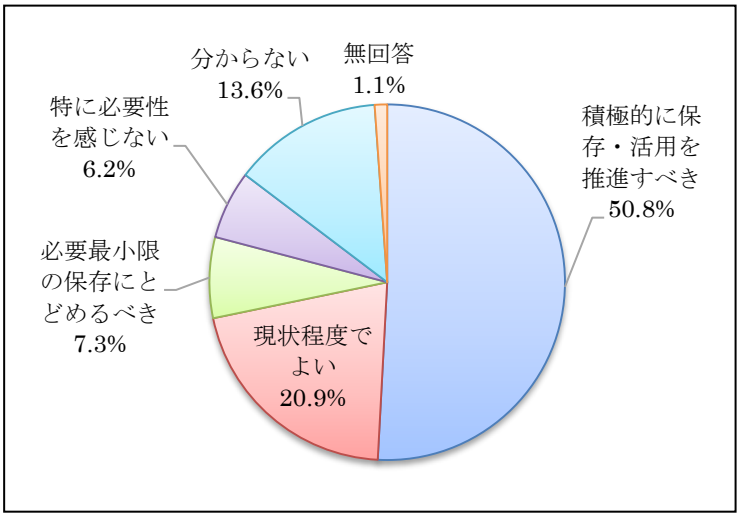
１．静かな見学中心の利用がよい	66 人
２．歴史や文化を学ぶ場としての活用がよい	108 人
３．地域文化活動の場としての活用がよい	64 人
４．各種イベントを行うのがよい	34 人
５．活用せず保存を優先すべき	4 人
６．特にこだわりはない	32 人



「２．歴史や文化を学ぶ場としての活用がよい」（108 人）が最も多く、次いで「１．静かな見学中心の利用がよい」（66 人）、「３．地域文化活動の場としての活用がよい」（64 人）という結果となっています。住友山田社宅については、見学の場として保存するだけでなく、歴史や文化に触れ学ぶことができる施設としての活用を望む声が多いことが分かりました。

問５．住友山田社宅のような産業遺産の保存・活用について、新居浜市としてどのように取り組むべきだと思いますか。（１つ選択）【必須】

１．積極的に保存・活用を推進すべき	90 人
２．現状程度でよい	37 人
３．必要最小限の保存にとどめるべき	13 人
４．特に必要性を感じない	11 人
５．分からない	24 人
無回答	2 人
合　計	177 人



「１．積極的に保存・活用を推進すべき」（90 人）が最も多く、次いで「２．現状程度でよい」（37 人）、「５．分からない」（24 人）という結果となっています。住友山田社宅のような産業遺産については、保存・活用を積極的に進めるべきと考える方が多いことが分かりました。

問６．住友山田社宅や産業遺産の保存・活用について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

広報・情報発信に関するご意見

・学校活動の社会科見学に利用する等、まず市民に認知される活動をする。
・この様な施設があることを初めて知りました。地域の歴史や文化を知るために、学校の社会科見学や一般の人向け見学ツアーを企画するなど、もっと広報してはどうかなと思います。
・素晴らしいものも広報しないと素晴らしさが共有されないと思います。知らないと要らないものだと考える人も多いのではないでしょうか。すぐにうまく循環しなくても、行政だからできる息の長い保存と広報をお願いしたいと思います。
・まとめて紹介する資料（HP）などがあっても良いと思う。
・SNS などを活用して情報を拡散したほうがいいと思う。現在情報不足だと思う。
・場所も地域もよくわからない。観光、保存をするというのであれば、まずは市民の認知度を上げてほしい。
・どのような産業遺産か、正直、よくわかっていないので、もっと周知した方がいい気がします。
・このアンケートに返答するまで山田住宅の保存や施設案内をしていることをしりませんでした。
・知らない人もいるため、市民に知らせる事が大事だと思う。
・Youtube などで宣伝してほしいです。色々な年齢や、国を問わず知ってほしいです。
・建物の存在は知っていても、歴史などで学んだことが無いので知らないことだらけです。もっと特集をネットワークで流すとか、市政だよりで紹介するなど、アピールすればいいのにと思いました。
・マスコミの力は大きいと思うので、TV 番組で取り上げてもらう。
・年配者は当時の記憶があるので社宅があったことなど知っているが、そもそも若い世代は山田社宅がどういうものだったのか知っているのだろうか。
・住友山田社宅をはじめ、産業遺産についてあまり知識がないのを新居浜市民として恥ずかしく思いました。現状の産業遺産についてのお知らせなどがあればよく勉強したいと思います。

歴史・文化の継承に関するご意見

・新居浜市の歴史を知る上でも産業遺産の保存は大切だと思います。
・住友山田社宅だけではなく、別子銅山の歴史や他の住友の産業遺産についても見学など、勉強して、保存に活用したい。
・もっと小中高生に住友の歴史も含めて積極的に授業に取り入れて欲しい。
・東平などの日本の産業において多大な貢献をした産業遺産について、新居浜市の住民も知らない人がいる。地元の方々にも歴史や産業遺産についてもっと理解をしてもらう為にも保存し、参加しやすいイベントや講座などで活用していただきたい。
・住友鉱山なくして今日の工業都市としての新居浜市は有りえなかったと思っております。伝統ある住友の商号と共に今は亡き先輩諸兄の血ににじむ思いで努力して築きあげられた住友グループの各社、今世界に羽ばたいている。「マイントピア別子」と共に将来、先々迄何かの形で残し引き継ぎ伝えていくべき

と思う。

観光振興・周遊ルートに関するご意見

・新居浜ならではの産業遺産を「点」ではなく「線」としてつなぎ、市内外の人が巡って楽しめる形で、これからも大切に保存・活用していただきたいです。
・東平、マイントピア別子、広瀬公園、山根の関連施設から、住友鉄道跡地をたどって星越方面まで、産業遺産が山側から市街地へとつながっています。
・住友鉄道跡地自転車歩行者専用道路が、バイパスなどの道路によって 2 か所分断されてしまったことは、とてももったいなく感じています。
・もっと積極的にアピールし、市外・県外者へも周知する。
・一定のエリアごと保存して昭和の雰囲気を残したエリアとして映画などで街並みを活用できるようにして欲しい。
・別子鉱山の遺産は広範囲（東平～新居浜市内各所～四阪島）に散在するため、歴史的遺産として学ぶためには遠距離の移動が必要となる。
・マイントピア別子は、もう少し工夫が必要。
・東平やマイントピア別子などと一緒に歴史や自然の観光を国内観光向けではなく、インバウンド向けの観光材料とするといいと思う。
・マイントピア別子近辺の産業遺産のようにある程度観光を兼ねて利用でき学習できるように保存していければ良いのではないかと思います。
・観光資源として、活用してほしい。
・産業遺産全体を結びつけて観光などに活用できるようにしていくと良いと思う。
・住友山田社宅、日暮邸、広瀬記念館、端出場水力発電所、別子記念館等の新居浜市内の産業遺産を連携してネットワークを組んでトータルでアピール、紹介をする取り組みをして、観光や社会教育等に活用出来たら良いと思います。

見学機会の充実に関するご意見

・知らなかったので見てみたいな～と思いましたが何も知らないのにガイドの案内があるのはハードルが高いなと思い、何かイベントがあって中の見学もできるといいなぁと思いました。
・日暮別邸と同じようにいつでも見学出来るようにしたら良いと思う。
・公開の頻度を増加してほしい。
・行った事が無いので分かりませんがこのアンケートを機会に見学してみようと思います。
・見学できる日を増やしてほしい。水曜日が休みの日なので要予約でもいいので平日も行ける日を作ってほしい。また長期休みのみでも良いので平日に見学してみたい。
・住友山田社宅があるという事は知っていました。夫が一度案内付きで行ったらしいから、私も一度は行って、見てみたいと思いながら年月が過ぎていきました。
・山田社宅跡の見学会を一度企画して欲しい。
・普段入れない所を含めてのツアーを開催して欲しいです。
・毎日曜日の午前中だけでは交通の便も悪く、見学したくてもなかなか見る機会が少ないと思う。

保存・継承に関するご意見

・新居浜にとって大変貴重な財産だと思いますので、ぜひ保存するだけでなく、積極的に活用していただきたいです。
・建物を保存しながら活用する。
・周囲の景観含めて保存いただきたいです。

・産業遺産は貴重な歴史財産なのでできるならば保存しで後世に語り継いでいってほしい。
・住友山田社宅は子供の頃から見慣れた景色でした。懐かしさもあり、新居浜での住友の歴史を語る上でも保存し活用して頂きたいと思う。
・今の時代なにがあるかわからないので地震や豪雨などでなくなることだってある。なので使える時に使った方がいいと思う。

活用方法に関するご意見

・市民が何気なく集えるところとして利用できるように、案内してほしい。高校生の遊び場がないので、なにか居場所として使えたら。
・イベント会場にする。
・ライトアップにしたり、お団子やお茶の提供など、無料ではなく、有料にすれば観光地、憩いの場になるのではないかと思います。
・工業都市として発展を遂げた証跡としての知名度向上が必要。企業 CM とのタイアップもあり少し明るい雰囲気での保存。活用はワークショップなどの実施。
・当時の生活を疑似体験できるようなイベントもできればいいのではないでしょうか。
・スポンサーを付けて効率よく活用して頂きたい。

保存・活用に対する慎重なご意見

・産業遺産としての価値がよく分からない。
・見たことがないので分からない。
・昔は（社宅が）沢山あったように思います。歴史的文化財だと思うし、もし災害が起こった時の対処も大変だとも思うので何とも言えない。現状維持がベストですかね。
・山田社宅については見学するのは新居浜の人だけだと思うし、対外的に活用しても観光には興味を示さないし、わざわざ目的に来ない。
・ある程度でいいと思う。維持管理、ちょっとした観光で。
・なぜ産業遺産なのかがよくわからないので、見学したいと思わないのかもしれない。どのような価値があるのか詳しく教えていただきたい。
・保存に力を入れるほどのものなのか？も、知らないからわからないですね。
・保存することによってどのような利点があるのか知りたい。
・そんなにお金もかけられない（かけてほしくもない）だろうから、なかなか難しい選択だと思います。
・遺産を残すのは良いことではありますが、なぜ残す必要があるのか、それを維持するのにどのくらいの費用がかかっているのか、よくわからない。
・保存・活用に高額な費用がかかるのであれば、取り壊しもやむを得ないと感じます。

＜まとめ＞

今回のアンケートでは、住友山田社宅の限定公開を知らない方や訪れたことがない方が多く、市民への認知が十分に進んでいない状況が明らかとなりました。

一方で、活用のあり方については、「歴史や文化を学ぶ場としての活用」の回答が最も多く、「静かな見学中心の利用」や「地域文化活動の場としての活用」を望む意見も多く寄せられました。また、住友山田社宅をはじめとする産業遺産について、「積極的に保存・活用を推進すべき」と回答した方が最も多く、産業遺産の保存と活用に対する理解や期待の高さがうかがえました。

自由意見では、「まず市民への周知が必要」「学校教育や見学会などを通じて歴史を学ぶ機会を増やしてほしい」といった意見のほか、「市内各地に点在する産業遺産をネットワーク化し、周遊につなげるべき」との意見も多く見られました。また、公開日や見学機会の拡充を求める声や、観光や社会教育などへの活用を期待する声も寄せられました。

これらの結果から、住友山田社宅や別子銅山産業遺産の価値をより知っていただくための情報発信の強化や見学機会の拡充が必要であると考えられます。また、保存を基本としながら、歴史・文化の学習や観光振興などに取り組み、多くの方が親しみ、学び、訪れることのできる施設として活用を進めていくことが求められています。

今後も住友山田社宅を平野部における産業遺産の拠点として、その魅力や価値の発信に取り組むとともに、市内各地に点在する別子銅山産業遺産との連携や周遊促進を図り、歴史・文化学習や観光など幅広い分野での活用を進めてまいります。

（担当課：別子銅山文化遺産課）

テーマ⑤　スポーツについて

【調査趣旨】

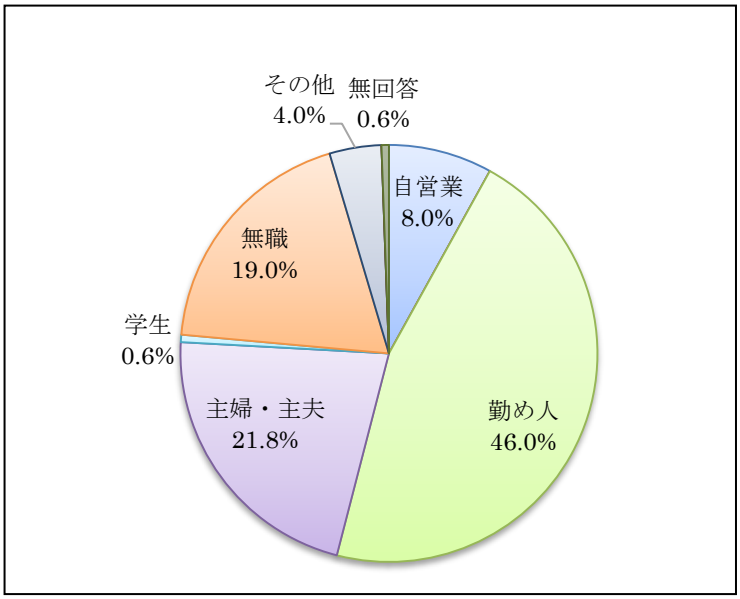
新居浜市では、「市民のライフステージに応じて親しむ・楽しむ・育てるスポーツまちづくり」を基本理念に、行政だけでなく、市民やスポーツ団体と協働し地域が一丸となって、誰もが運動・スポーツに参加し、市民一人ひとりが健康で明るく、生きがいをもって活き活きと暮らすことができるまちづくりを目指し、「新居浜市スポーツ振興計画」を策定しています。この度、次期スポーツ振興計画の策定にあたり、市民の皆さんの、日頃の運動やスポーツの実施状況、スポーツ施設に対するご要望、今後の市のスポーツ施策についてのお考えなどをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用したいと考えています。

（担当課：スポーツ振興課）

（※問１はモニター属性特定のための設問であり、省略）

問２．あなたの職業を教えてください。（１つ選択）【必須】

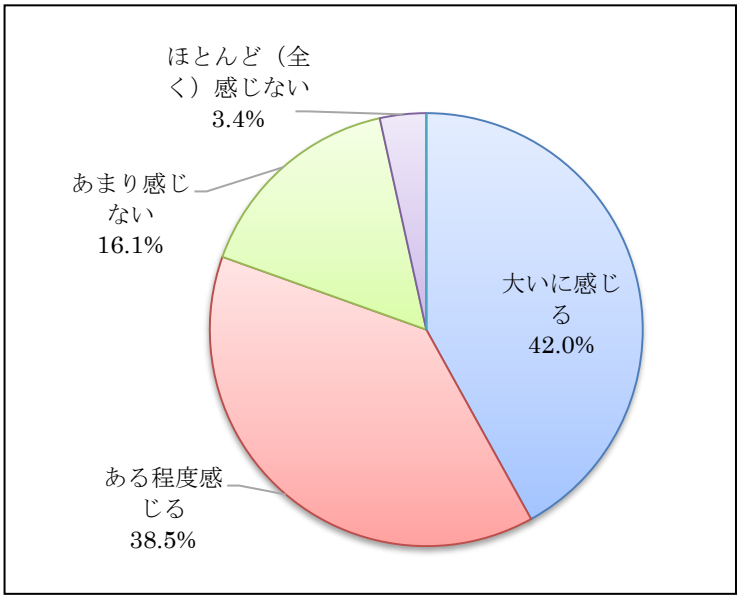
１．自営業	14 人
２．家族従業者	0 人
３．勤め人	80 人
４．主婦・主夫	38 人
５．学生	1 人
６．無職	33 人
７．その他	7 人
８．答えたくない	0 人
無回答	1 人
合　計	174 人



「３．勤め人」（80 人）と回答した方が最も多く、次いで「４．主婦・主夫」（38 人）、「６．無職」（33 人）という結果となっています。回答者の約半数が勤め人であり、幅広い職業の方から回答を得られたことが分かりました。

問３．あなたは、普段、運動不足を感じますか。（１つ選択）【必須】

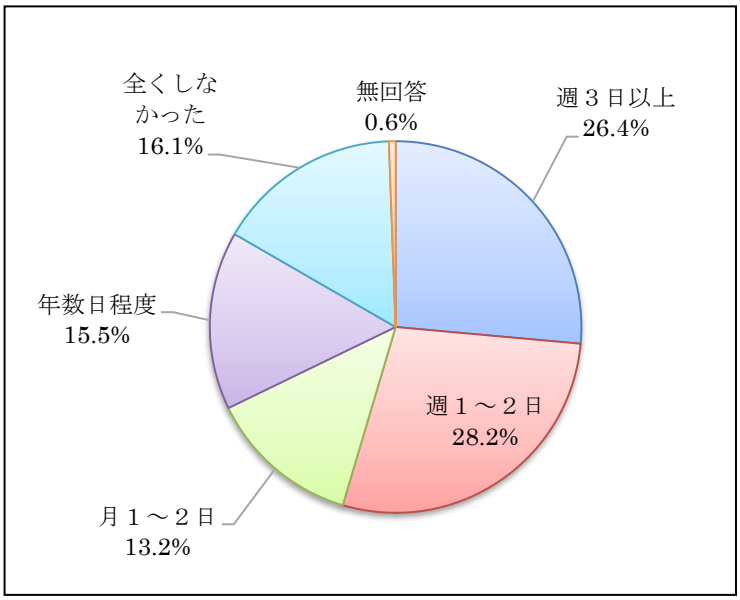
１．大いに感じる	73 人
２．ある程度感じる	67 人
３．あまり感じない	28 人
４．ほとんど（全く）感じない	6 人
無回答	0 人
合　計	174 人



「１．大いに感じる」（73 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．ある程度感じる」（67 人）、「３．あまり感じない」（28 人）という結果となっています。全体の約 8 割の方が運動不足を感じており、多くの方が日頃から運動不足を実感していることが分かりました。

問４．この１年間に運動やスポーツを行いましたか。　（運動やスポーツの内容は、問６の選択肢を参考にしてください。）（１つ選択）【必須】

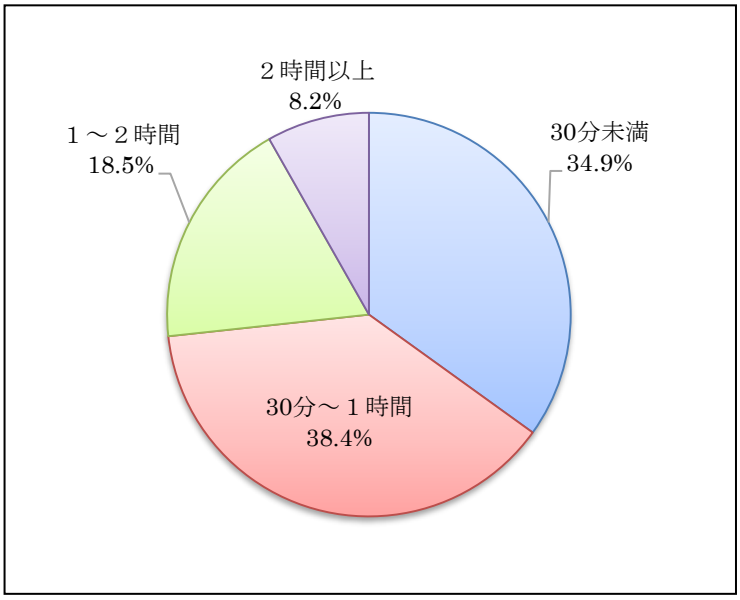
１．週３日以上	46 人
２．週１～２日	49 人
３．月１～２日	23 人
４．年数日程度	27 人
５．全くしなかった	28 人
無回答	1 人
合　計	174 人



「２．週１～２日」（49 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．週３日以上」（46 人）、「５．全くしなかった」（28 人）という結果となっています。全体の半数以上の方が週 1 回以上運動やスポーツを行っており、継続的に運動に取り組んでいる方が多いことが分かりました。

問５．１回あたりの実施時間はどの程度ですか。（１つ選択）【必須】

１．30 分未満	51 人
２．30 分～１時間	56 人
３．１～２時間	27 人
４．２時間以上	12 人

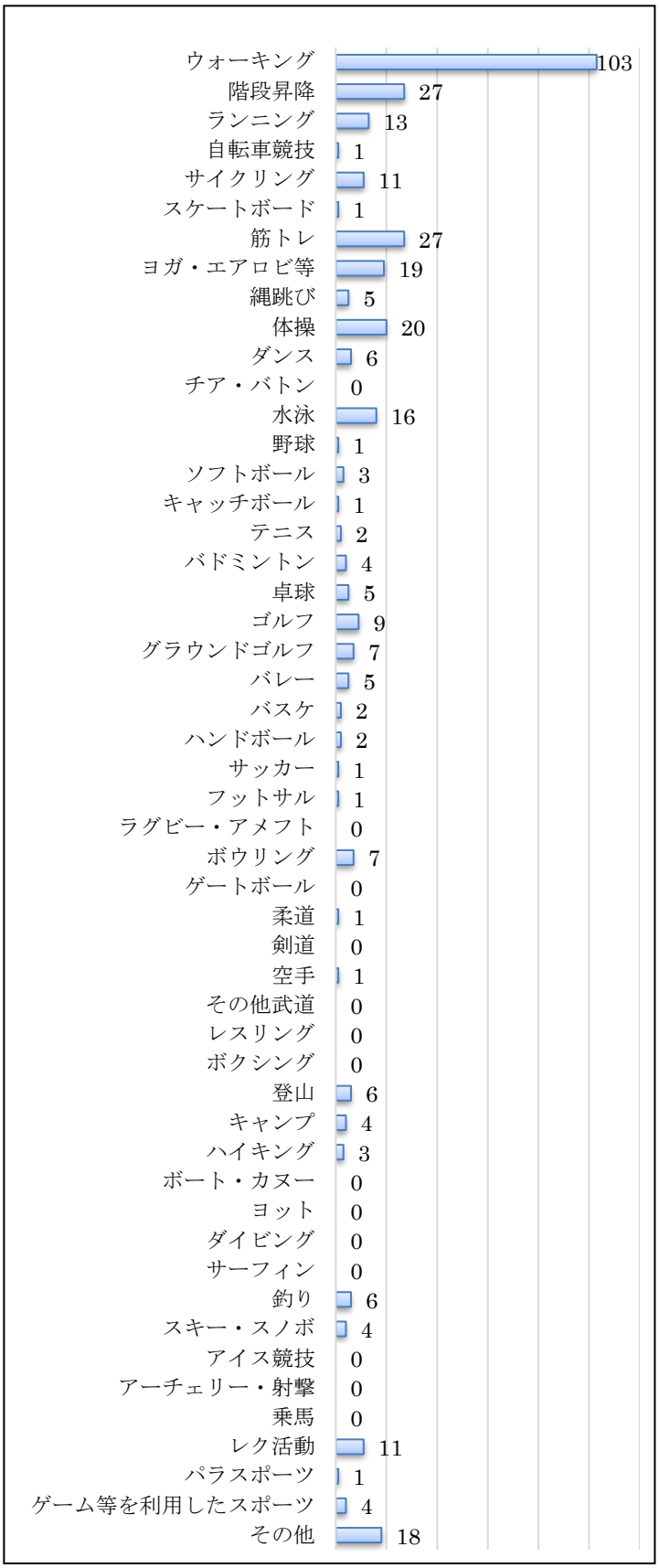


「２．30 分～１時間」（56 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．30 分未満」（51 人）、「３．１～２時間」（27 人）という結果となっています。１回あたりの実施時間は１時間以下の方が多く、気軽に運動やスポーツに取り組んでいる方が多いことが分かりました。



問６．あなたがこの１年間に行った運動やスポーツの中で、特に多く実施したものを最大５つまであげてください。（最大５つまで選択）

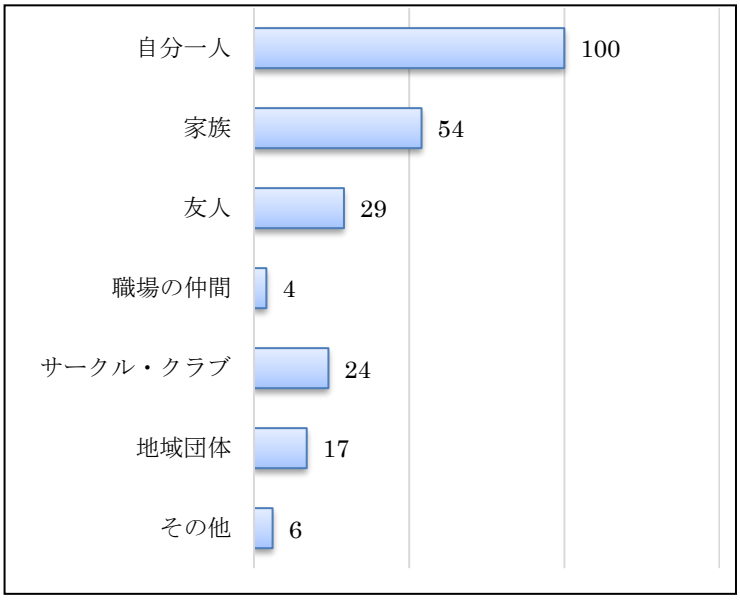
１．ウォーキング	103 人
２．階段昇降	27 人
３．ランニング	13 人
４．自転車競技	1 人
５．サイクリング	11 人
６．スケートボード	1 人
７．筋トレ	27 人
８．ヨガ・エアロビ等	19 人
９．縄跳び	5 人
１０．体操	20 人
１１．ダンス	6 人
１２．チア・バトン	0 人
１３．水泳	16 人
１４．野球	1 人
１５．ソフトボール	3 人
１６．キャッチボール	1 人
１７．テニス	2 人
１８．バドミントン	4 人
１９．卓球	5 人
２０．ゴルフ	9 人
２１．グラウンドゴルフ	7 人
２２．バレー	5 人
２３．バスケ	2 人
２４．ハンドボール	2 人
２５．サッカー	1 人
２６．フットサル	1 人
２７．ラグビー・アメフト	0 人
２８．ボウリング	7 人
２９．ゲートボール	0 人
３０．柔道	1 人
３１．剣道	0 人
３２．空手	1 人
３３．その他武道	0 人
３４．レスリング	0 人
３５．ボクシング	0 人
３６．登山	6 人
３７．キャンプ	4 人
３８．ハイキング	3 人
３９．ボート・カヌー	0 人
４０．ヨット	0 人
４１．ダイビング	0 人
４２．サーフィン	0 人
４３．釣り	6 人
４４．スキー・スノボ	4 人
４５．アイス競技	0 人
４６．アーチェリー・射撃	0 人
４７．乗馬	0 人
４８．レク活動	11 人
４９．パラスポーツ	1 人
５０．ゲーム等を利用したスポーツ	4 人
５１．その他	18 人



「１．ウォーキング」（103 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．階段昇降」（27 人）と「７．筋トレ」（27 人）、「１０．体操」（20 人）という結果となっています。ウォーキングが突出して多く、日常生活の中で気軽に取り組める運動が広く実施されていることが分かりました。

問７．誰と行うことが多いですか。（複数選択）

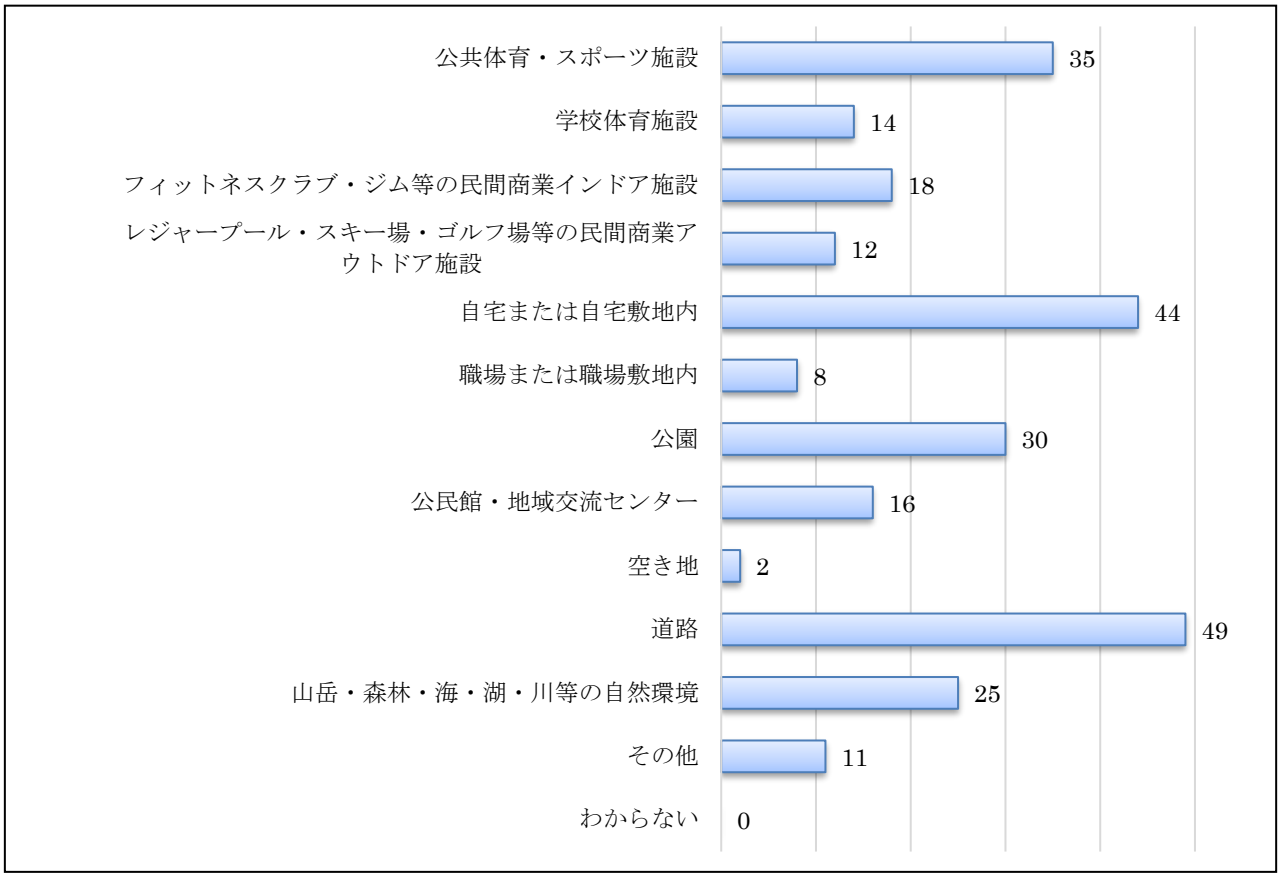
１．自分一人	100 人
２．家族	54 人
３．友人	29 人
４．職場の仲間	4 人
５．サークル・クラブ	24 人
６．地域団体	17 人
７．その他	6 人



「１．自分一人」（100 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．家族」（54 人）、「３．友人」（29 人）という結果となっています。自分一人で運動やスポーツに取り組む方が多く、それぞれの生活スタイルに合わせて実施していることが分かりました。

問８．運動やスポーツをどのような場所で行いましたか。（複数選択）

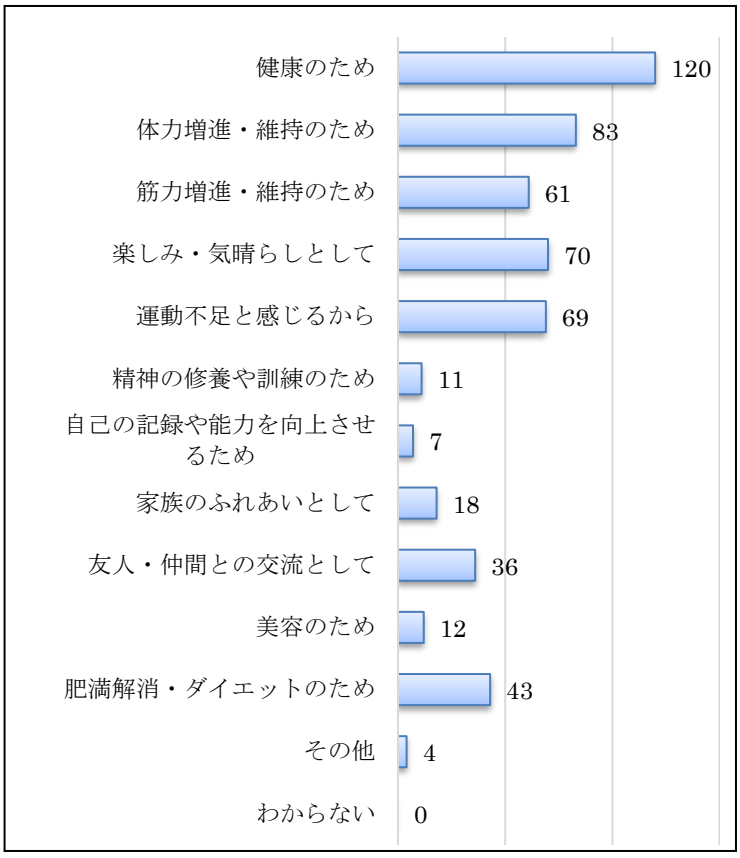
１．公共体育・スポーツ施設	35 人
２．学校体育施設	14 人
３．フィットネスクラブ・ジム等の民間商業インドア施設	18 人
４．レジャープール・スキー場・ゴルフ場等の民間商業アウトドア施設	12 人
５．自宅または自宅敷地内	44 人
６．職場または職場敷地内	8 人
７．公園	30 人
８．公民館・地域交流センター	16 人
９．空き地	2 人
１０．道路	49 人
１１．山岳・森林・海・湖・川等の自然環境	25 人
１２．その他	11 人
１３．わからない	0 人



「１０．道路」（49 人）と回答した方が最も多く、次いで「５．自宅または自宅敷地内」（44 人）、「１．公共体育・スポーツ施設」（35 人）という結果となっています。道路や自宅など、身近な場所で気軽に運動やスポーツに取り組んでいる方が多いことが分かりました。

問９．運動やスポーツを行う理由は何ですか。（複数選択）

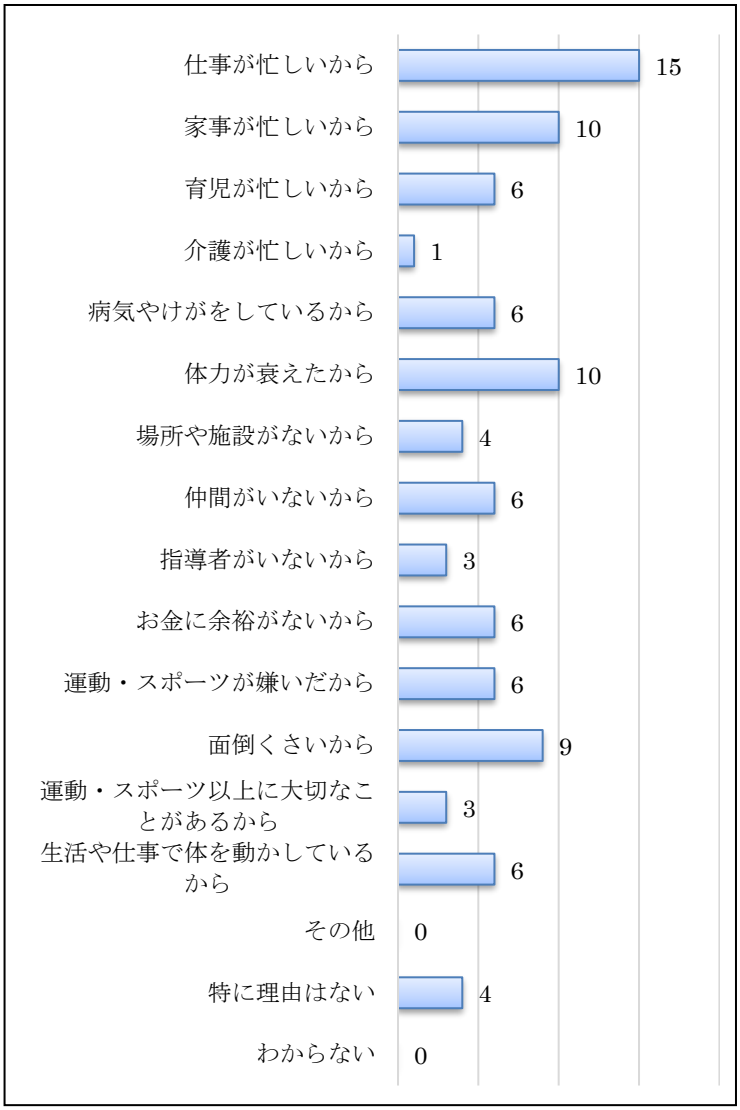
１．健康のため	120 人
２．体力増進・維持のため	83 人
３．筋力増進・維持のため	61 人
４．楽しみ・気晴らしとして	70 人
５．運動不足と感じるから	69 人
６．精神の修養や訓練のため	11 人
７．自己の記録や能力を向上させるため	7 人
８．家族のふれあいとして	18 人
９．友人・仲間との交流として	36 人
１０．美容のため	12 人
１１．肥満解消・ダイエットのため	43 人
１２．その他	4 人
１３．わからない	0 人



「１．健康のため」（120 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．体力増進・維持のため」（83 人）、「４．楽しみ・気晴らしとして」（70 人）という結果となっています。健康や体力の維持・向上を目的として運動やスポーツに取り組む方が多いことが分かりました。

問１０．問４でスポーツを「５．全くしなかった」を選択した人にお聞きします。この１年間で運動やスポーツを実施できなかった理由は何ですか。（問４で「１～４」を選択した方は次の問 11 へお進みください。）（複数選択）

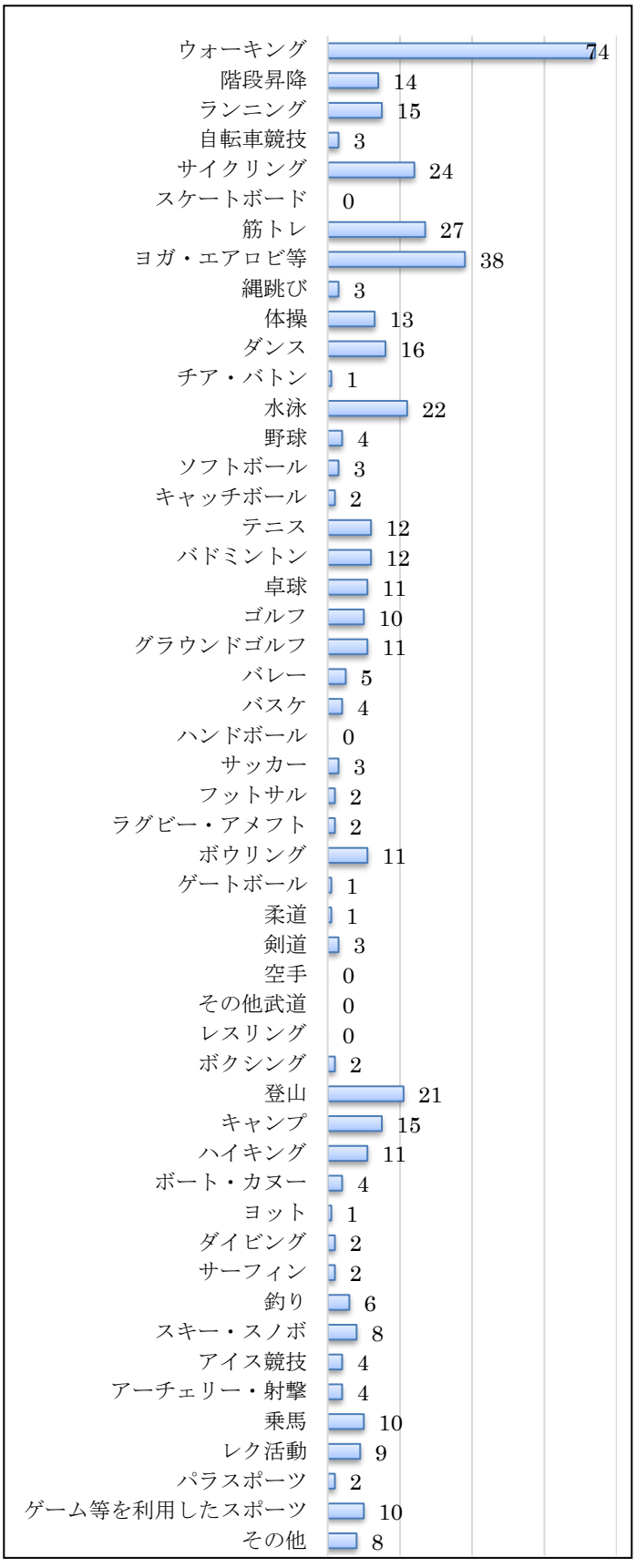
１．仕事が忙しいから	15 人
２．家事が忙しいから	10 人
３．育児が忙しいから	6 人
４．介護が忙しいから	1 人
５．病気やけがをしているから	6 人
６．体力が衰えたから	10 人
７．場所や施設がないから	4 人
８．仲間がいないから	6 人
９．指導者がいないから	3 人
１０．お金に余裕がないから	6 人
１１．運動・スポーツが嫌いだから	6 人
１２．面倒くさいから	9 人
１３．運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	3 人
１４．生活や仕事で体を動かしているから	6 人
１５．その他	0 人
１６．特に理由はない	4 人
１７．わからない	0 人



「１．仕事が忙しいから」（15 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．家事が忙しいから」と「６．体力が衰えたから」（各 10 人）、「１２．面倒くさいから」（9 人）という結果となっています。仕事や家事などの忙しさに加え、体力面の不安が運動やスポーツを実施できない主な理由となっていることが分かりました。

問１１．今後してみたい運動・スポーツは何ですか。（複数選択）

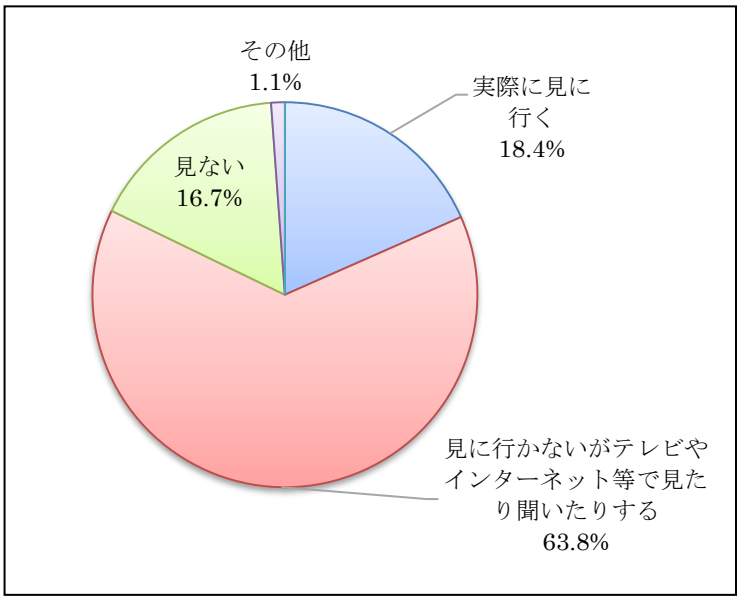
１．ウォーキング	74 人
２．階段昇降	14 人
３．ランニング	15 人
４．自転車競技	3 人
５．サイクリング	24 人
６．スケートボード	0 人
７．筋トレ	27 人
８．ヨガ・エアロビ等	38 人
９．縄跳び	3 人
１０．体操	13 人
１１．ダンス	16 人
１２．チア・バトン	1 人
１３．水泳	22 人
１４．野球	4 人
１５．ソフトボール	3 人
１６．キャッチボール	2 人
１７．テニス	12 人
１８．バドミントン	12 人
１９．卓球	11 人
２０．ゴルフ	10 人
２１．グラウンドゴルフ	11 人
２２．バレー	5 人
２３．バスケ	4 人
２４．ハンドボール	0 人
２５．サッカー	3 人
２６．フットサル	2 人
２７．ラグビー・アメフト	2 人
２８．ボウリング	11 人
２９．ゲートボール	1 人
３０．柔道	1 人
３１．剣道	3 人
３２．空手	0 人
３３．その他武道	0 人
３４．レスリング	0 人
３５．ボクシング	2 人
３６．登山	21 人
３７．キャンプ	15 人
３８．ハイキング	11 人
３９．ボート・カヌー	4 人
４０．ヨット	1 人
４１．ダイビング	2 人
４２．サーフィン	2 人
４３．釣り	6 人
４４．スキー・スノボ	8 人
４５．アイス競技	4 人
４６．アーチェリー・射撃	4 人
４７．乗馬	10 人
４８．レク活動	9 人
４９．パラスポーツ	2 人
５０．ゲーム等を利用したスポーツ	10 人
５１．その他	8 人



「１．ウォーキング」（74 人）と回答した方が最も多く、次いで「８．ヨガ・エアロビ等」（38 人）、「７．筋トレ」（27 人）という結果となっています。ウォーキングをはじめ、健康維持や体力づくりにつながる運動・スポーツへの関心が高いことが分かりました。

問１２．スポーツを観戦したり、テレビやインターネット等で見たりすることはありますか。（１つ選択）

１．実際に見に行く	32 人
２．見に行かないがテレビやインターネット等で見たり聞いたりする	111 人
３．見ない	29 人
４．その他	2 人
無回答	0 人
合　計	174 人

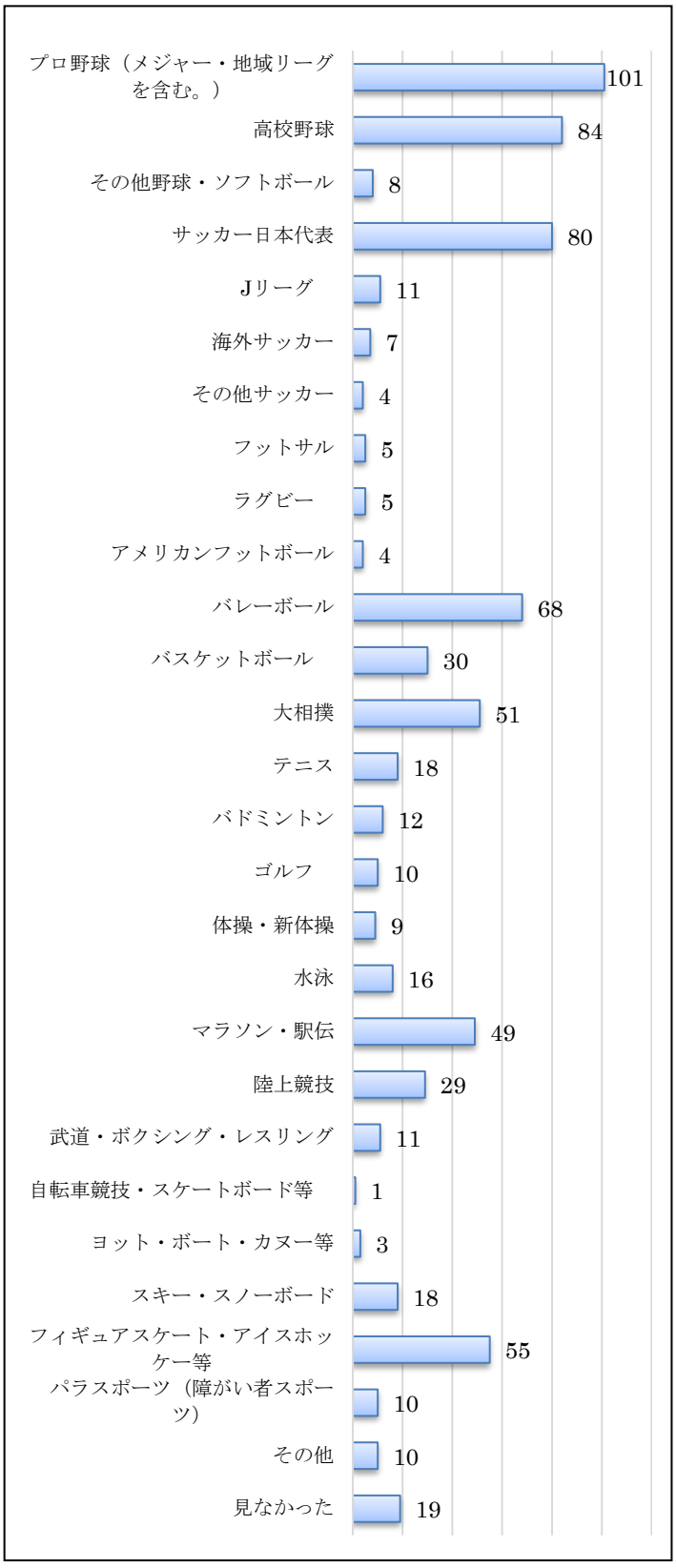


「２．見に行かないがテレビやインターネット等で見たり聞いたりする」（111 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．実際に見に行く」（32 人）、「３．見ない」（29 人）という結果となっています。多くの方がテレビやインターネット等を通じてスポーツに親しんでいることが分かりました。



問１３．この１年間にどんなスポーツを観戦（直接、テレビ、インターネット等）しましたか。（複数選択）

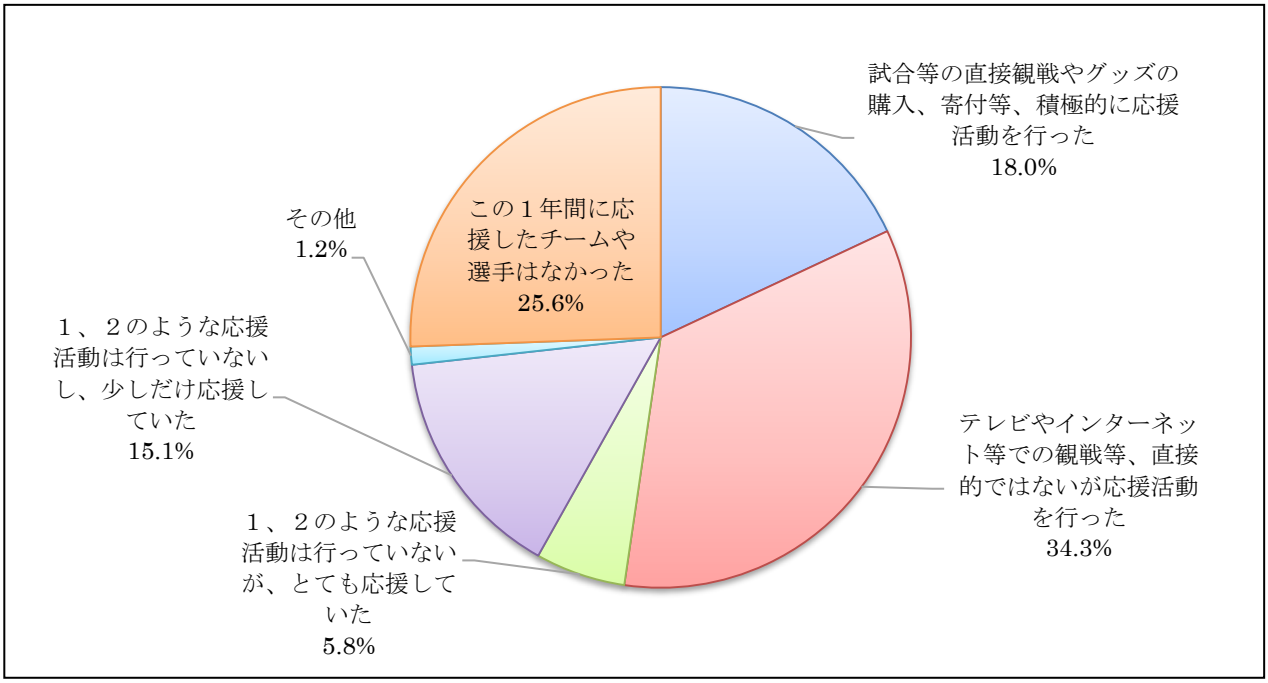
１．プロ野球（メジャー・地域リーグを含む。）	101 人
２．高校野球	84 人
３．その他野球・ソフトボール	8 人
４．サッカー日本代表	80 人
５．Ｊリーグ	11 人
６．海外サッカー	7 人
７．その他サッカー	4 人
８．フットサル	5 人
９．ラグビー	5 人
１０．アメリカンフットボール	4 人
１１．バレーボール	68 人
１２．バスケットボール	30 人
１３．大相撲	51 人
１４．テニス	18 人
１５．バドミントン	12 人
１６．ゴルフ	10 人
１７．体操・新体操	9 人
１８．水泳	16 人
１９．マラソン・駅伝	49 人
２０．陸上競技	29 人
２１．武道・ボクシング・レスリング	11 人
２２．自転車競技・スケートボード等	1 人
２３．ヨット・ボート・カヌー等	3 人
２４．スキー・スノーボード	18 人
２５．フィギュアスケート・アイスホッケー等	55 人
２６．パラスポーツ（障がい者スポーツ）	10 人
２７．その他	10 人
２８．見なかった	19 人



「１．プロ野球（メジャー・地域リーグを含む。）」（101 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．高校野球」（84 人）、「４．サッカー日本代表」（80 人）という結果となっています。野球やサッカーを中心に、多くの方がスポーツ観戦を楽しんでいることが分かりました。

問１４．この１年間に「スポーツチームや選手」（日本代表、プロ、実業団、子どもが所属しているチームや自身の出身チーム等の身近なものも含む。）をどの程度応援しましたか。（１つ選択）

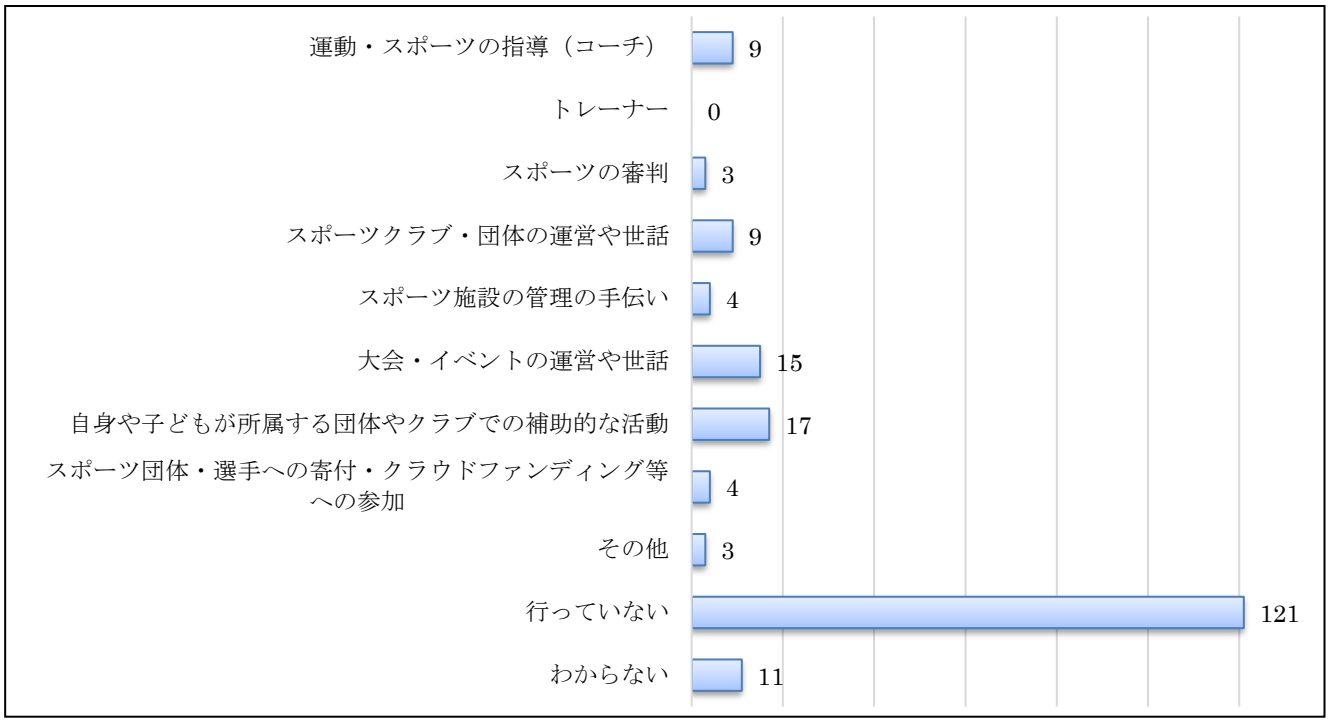
１．試合等の直接観戦やグッズの購入、寄付等、積極的に応援活動を行った	31 人
２．テレビやインターネット等での観戦等、直接的ではないが応援活動を行った	59 人
３．１、２のような応援活動は行っていないが、とても応援していた	10 人
４．１、２のような応援活動は行っていないし、少しだけ応援していた	26 人
５．その他	2 人
６．この１年間に応援したチームや選手はなかった	44 人



「２．テレビやインターネット等での観戦等、直接的ではないが応援活動を行った」（59 人）と回答した方が最も多く、次いで「６．この１年間に応援したチームや選手はなかった」（44 人）、「１．試合等の直接観戦やグッズの購入、寄付等、積極的に応援活動を行った」（31 人）という結果となっています。テレビやインターネット等を通じてスポーツチームや選手を応援している方が多いことが分かりました。

問１５．この１年間に行った「運動・スポーツをささえる活動」があれば全て挙げてください。（複数選択）

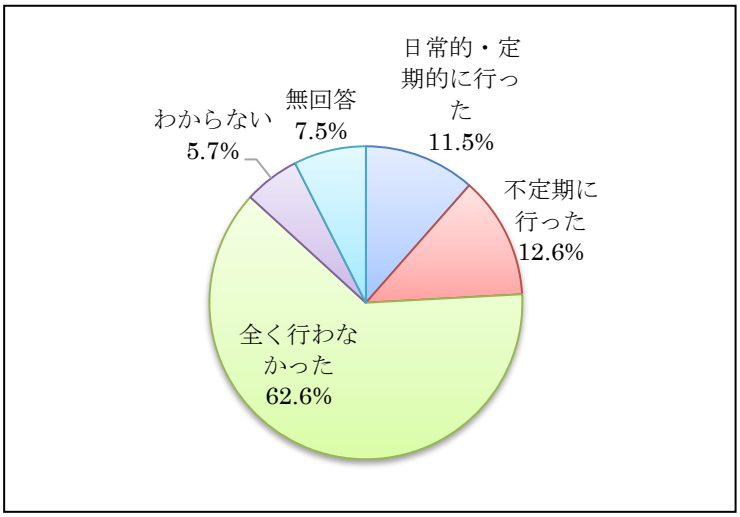
１．運動・スポーツの指導（コーチ）	9 人
２．トレーナー	0 人
３．スポーツの審判	3 人
４．スポーツクラブ・団体の運営や世話	9 人
５．スポーツ施設の管理の手伝い	4 人
６．大会・イベントの運営や世話	15 人
７．自身や子どもが所属する団体やクラブでの補助的な活動	17 人
８．スポーツ団体・選手への寄付・クラウドファンディング等への参加	4 人
９．その他	3 人
１０．行っていない	121 人
１１．わからない	11 人



「１０．行っていない」（121 人）と回答した方が最も多く、次いで「７．自身や子どもが所属する団体やクラブでの補助的な活動」（17 人）、「６．大会・イベントの運営や世話」（15 人）という結果となっています。運動・スポーツをささえる活動を行っていない方が多い一方で、所属団体や大会運営などを通じて活動に関わっている方もみられました。

問１６．この１年間に行った「運動・スポーツをささえる活動」は、どの程度行いましたか。（１つ選択）

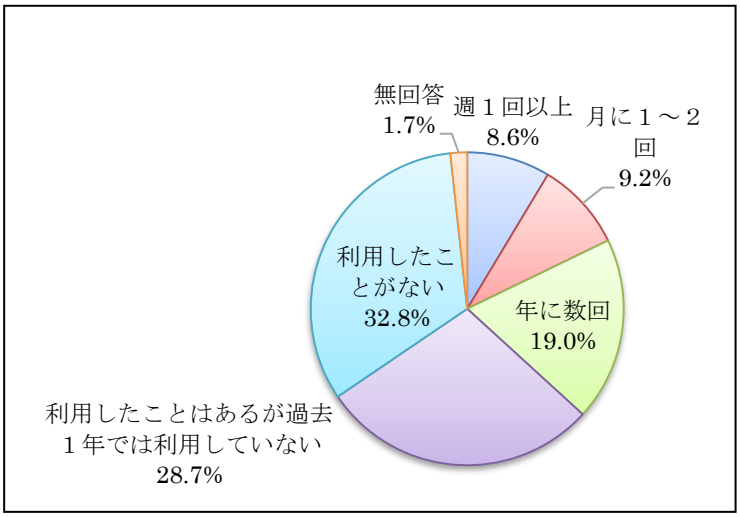
１．日常的・定期的に行った	20 人
２．不定期に行った	22 人
３．全く行わなかった	109 人
４．わからない	10 人
無回答	13 人
合　計	174 人



「３．全く行わなかった」（109 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．不定期に行った」（22 人）、「１．日常的・定期的に行った」（20 人）という結果となっています。運動・スポーツをささえる活動を行っていない方が多く、活動に参加している方も主に不定期な関わりとなっていることが分かりました。

問１７．この１年間に新居浜市内の公共体育・スポーツ施設をどのくらい利用しましたか。（１つ選択）【必須】

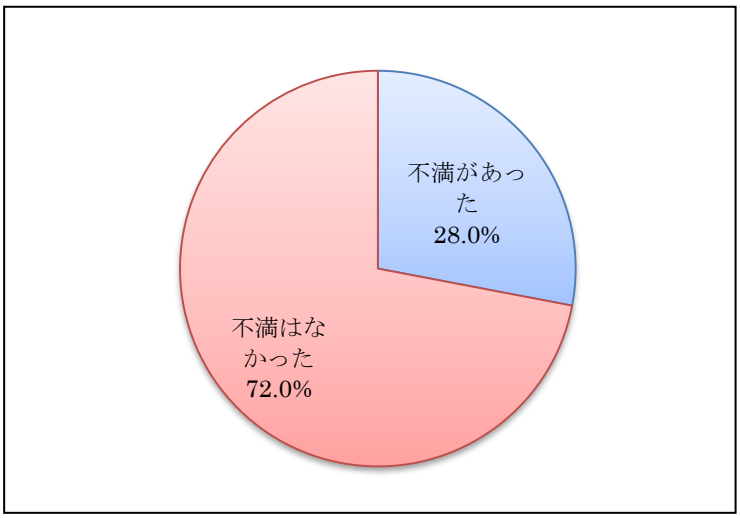
１．週１回以上	15 人
２．月に１～２回	16 人
３．年に数回	33 人
４．利用したことはあるが過去１年では利用していない	50 人
５．利用したことがない	57 人
無回答	3 人
合　計	174 人



「５．利用したことがない」（57 人）と回答した方が最も多く、次いで「４．利用したことはあるが過去１年では利用していない」（50 人）、「３．年に数回」（33 人）という結果となっています。公共体育・スポーツ施設を利用していない方が多く、日常的に利用している方は比較的少ないことが分かりました。

問１８．問１７で１～３を選択した方にお聞きします。この１年間で、新居浜市の公共体育・スポーツ施設を利用されて何か不満はありましたか。（１つ選択）【必須】

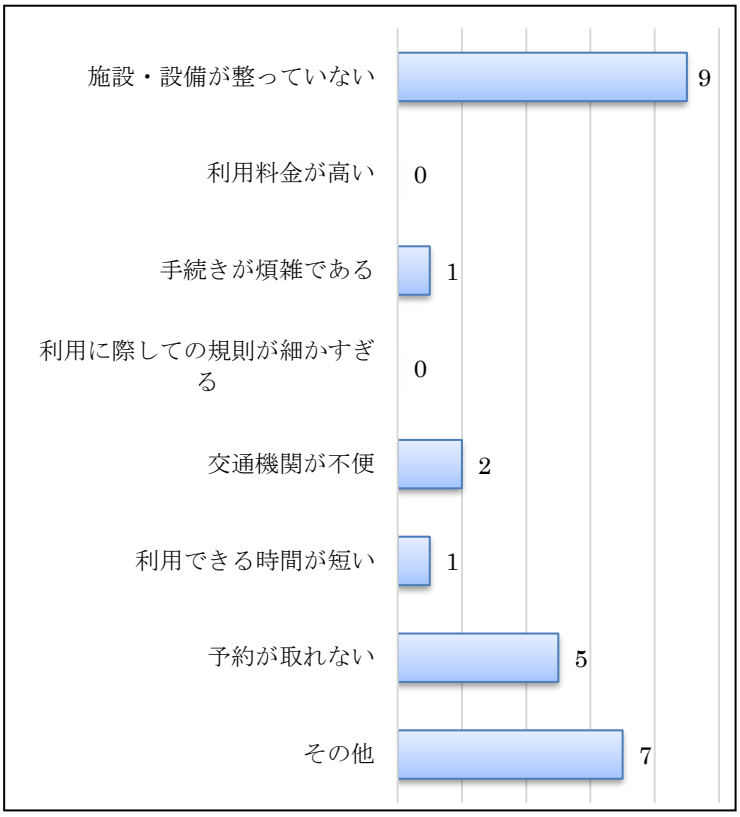
１．不満があった	21 人
２．不満はなかった	54 人



「２．不満はなかった」（54 人）と回答した方が多く、次いで「１．不満があった」（21 人）という結果となっています。公共体育・スポーツ施設を利用した方の多くは、施設利用に対して特に不満を感じていないことが分かりました。

問１９．問１８で「１．不満があった」を選択した方にお聞きします。不満な点は何でしたか。（複数選択）

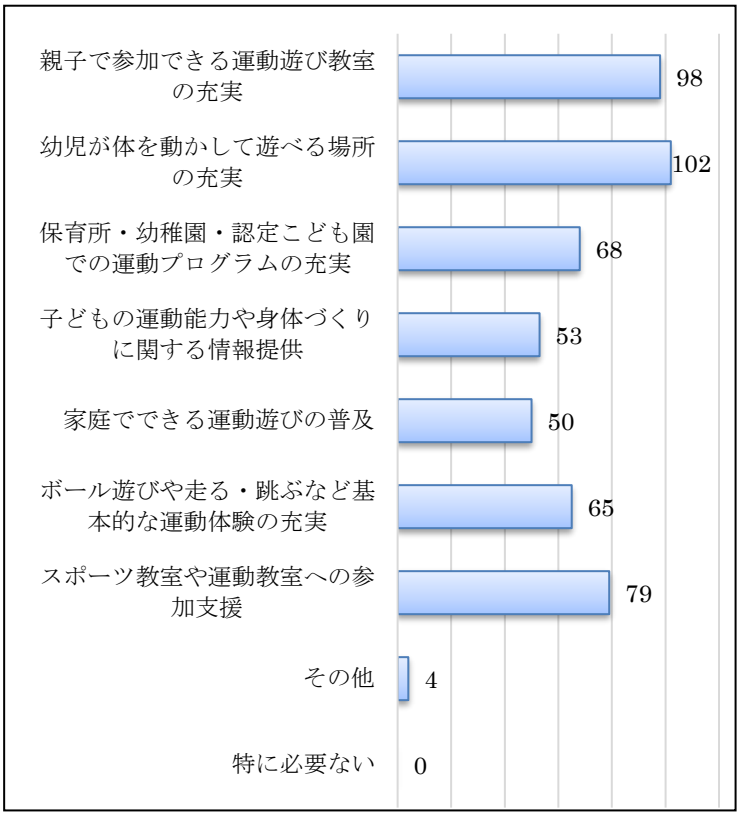
１．施設・設備が整っていない	9 人
２．利用料金が高い	0 人
３．手続きが煩雑である	1 人
４．利用に際しての規則が細かすぎる	0 人
５．交通機関が不便	2 人
６．利用できる時間が短い	1 人
７．予約が取れない	5 人
８．その他	7 人



「１．施設・設備が整っていない」（9 人）と回答した方が最も多く、次いで「８．その他」（7 人）、「７．予約が取れない」（5 人）という結果となっています。施設や設備に関する不満が最も多く、利用環境の充実が求められていることが分かりました。

問２０．子どもの健やかな成長のためには、乳幼児期から様々な動きを経験し、体を動かす楽しさを感じることが大切だといわれています。子どもの身体づくりを進めるために、市が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。（複数選択）

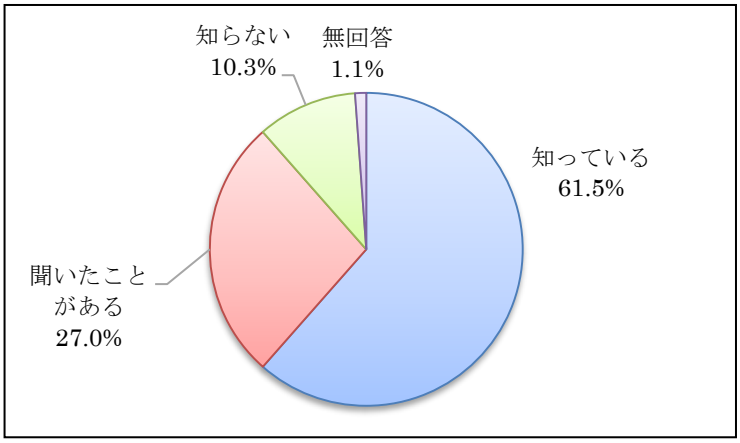
１．親子で参加できる運動遊び教室の充実	98 人
２．幼児が体を動かして遊べる場所の充実	102 人
３．保育所・幼稚園・認定こども園での運動プログラムの充実	68 人
４．子どもの運動能力や身体づくりに関する情報提供	53 人
５．家庭でできる運動遊びの普及	50 人
６．ボール遊びや走る・跳ぶなど基本的な運動体験の充実	65 人
７．スポーツ教室や運動教室への参加支援	79 人
８．その他	4 人
９．特に必要ない	0 人



「２．幼児が体を動かして遊べる場所の充実」（102 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．親子で参加できる運動遊び教室の充実」（98 人）、「７．スポーツ教室や運動教室への参加支援」（79 人）という結果となっています。子どもが気軽に体を動かせる環境づくりや、親子で参加できる機会の充実が求められていることが分かりました。

問２１．学校部活動の地域移行を知っていますか。 ※学校部活動の地域移行とは、少子化や教員の負担軽減に対応するため、学校部活動を地域の団体や指導者が担う仕組みへ移行する取組です。（１つ選択）

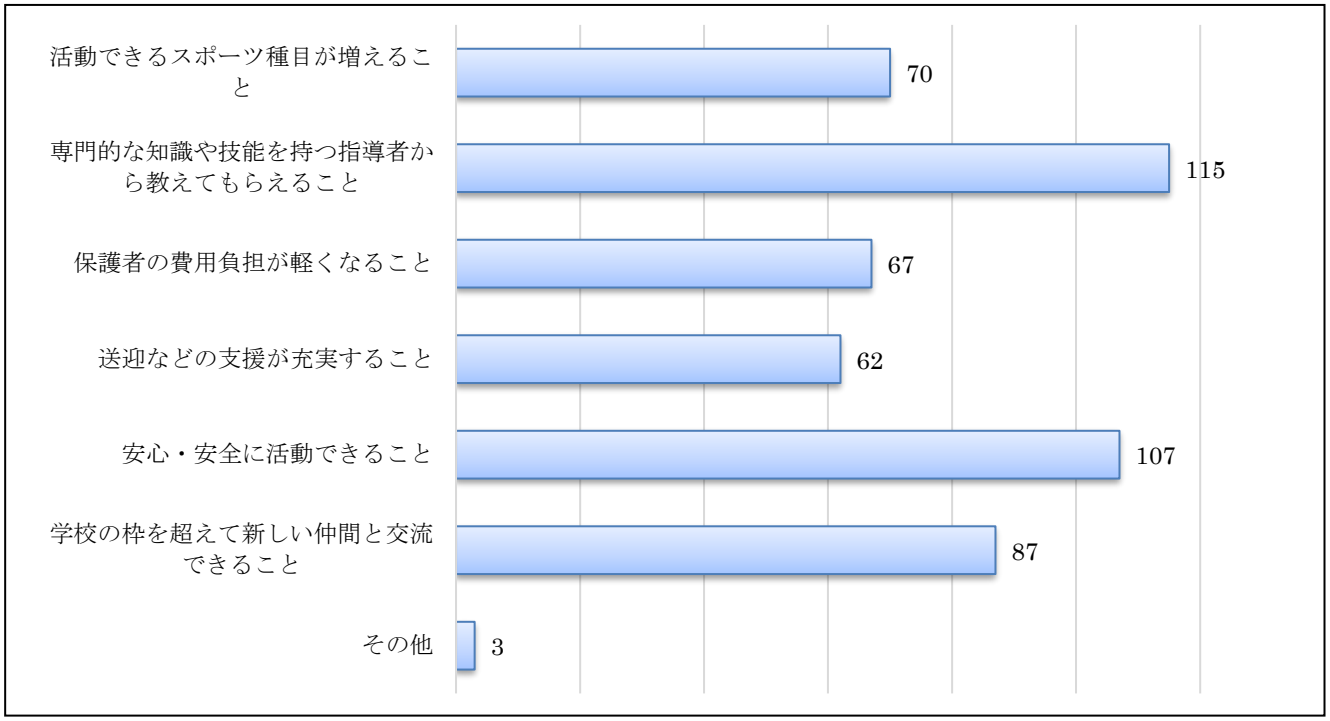
１．知っている	107 人
２．聞いたことがある	47 人
３．知らない	18 人
無回答	2 人
合計	174 人



「１．知っている」（107 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．聞いたことがある」（47 人）、「３．知らない」（18 人）という結果となっています。学校部活動の地域移行について、多くの方が内容を認識していることが分かりました。

問２２．学校部活動の地域移行に伴い、休日などの部活動を地域クラブ（地域の指導者や団体が運営するスポーツ・文化活動）で行う場合、どのようなことを期待しますか。（複数選択）

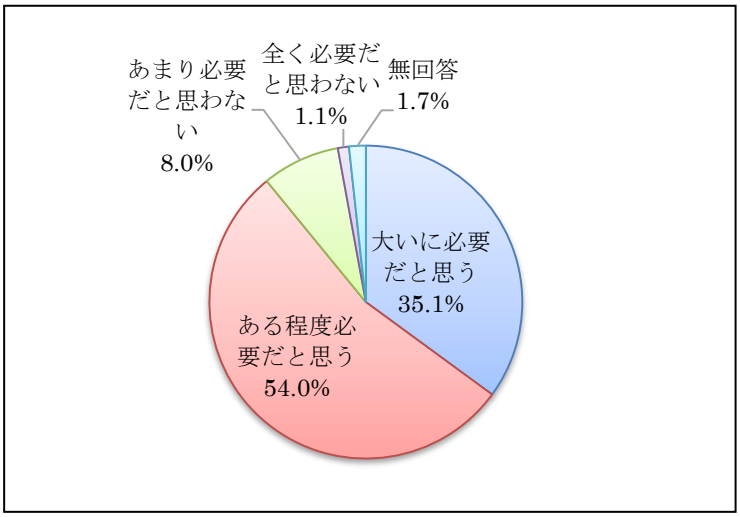
１．活動できるスポーツ種目が増えること	70 人
２．専門的な知識や技能を持つ指導者から教えてもらえること	115 人
３．保護者の費用負担が軽くなること	67 人
４．送迎などの支援が充実すること	62 人
５．安心・安全に活動できること	107 人
６．学校の枠を超えて新しい仲間と交流できること	87 人
７．その他	3 人



「２．専門的な知識や技能を持つ指導者から教えてもらえること」（115 人）と回答した方が最も多く、次いで「５．安心・安全に活動できること」（107 人）、「６．学校の枠を超えて新しい仲間と交流できること」（87 人）という結果となっています。地域クラブには、専門的な指導に加え、安心して活動できる環境や新たな交流の機会が期待されていることが分かりました。

問２３．子どもから大人までが参加できるスポーツや文化活動、地域交流の場となる地域クラブ（総合型地域スポーツ・文化クラブ）が必要だと思いますか。（１つ選択）

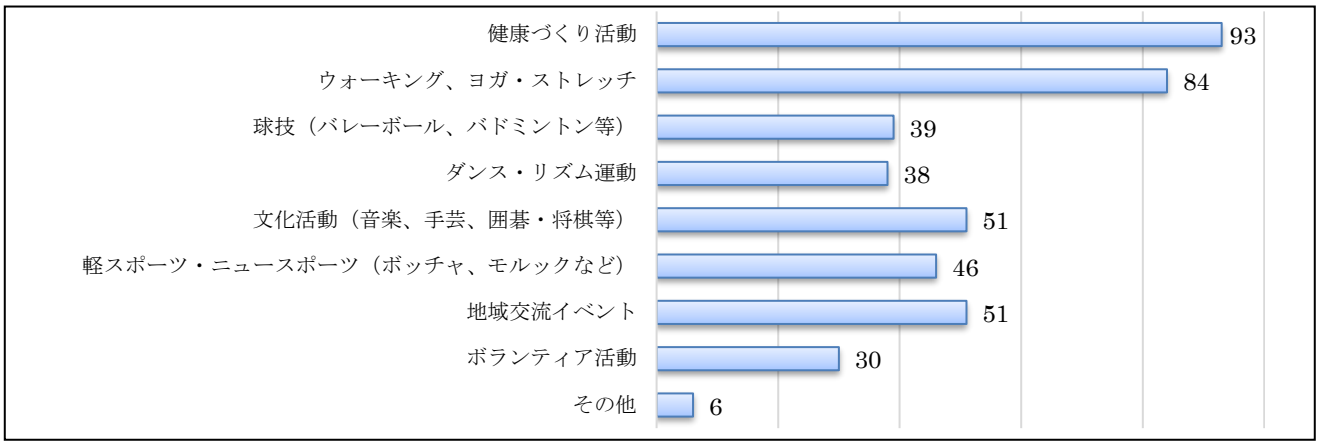
１．大いに必要だと思う	61 人
２．ある程度必要だと思う	94 人
３．あまり必要だと思わない	14 人
４．全く必要だと思わない	2 人
無回答	3 人
合計	174 人



「２．ある程度必要だと思う」（94 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．大いに必要だと思う」（61 人）、「３．あまり必要だと思わない」（14 人）という結果となっています。全体の約 9 割の方が地域クラブを必要だと考えており、子どもから大人までが参加できるスポーツや文化活動、地域交流の場への期待の高さがうかがえます。

問２４．問２３の地域クラブが開催する活動に参加するとした場合（自身または家族の参加を含む。）、どのような活動に参加したいですか。（複数選択）

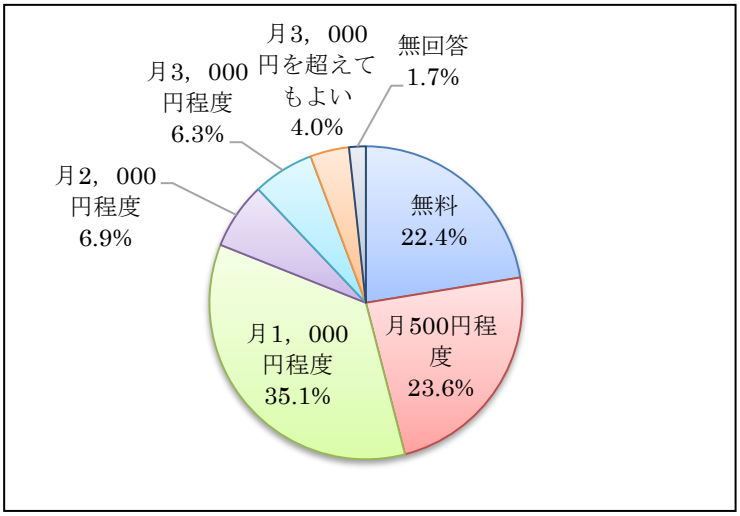
１．健康づくり活動	93 人
２．ウォーキング、ヨガ・ストレッチ	84 人
３．球技（バレーボール、バドミントン等）	39 人
４．ダンス・リズム運動	38 人
５．文化活動（音楽、手芸、囲碁・将棋等）	51 人
６．軽スポーツ・ニュースポーツ（ボッチャ、モルックなど）	46 人
７．地域交流イベント	51 人
８．ボランティア活動	30 人
９．その他	6 人



「１．健康づくり活動」（93 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．ウォーキング、ヨガ・ストレッチ」（84 人）、「５．文化活動（音楽、手芸、囲碁・将棋等）」と「７．地域交流イベント」（各 51 人）という結果となっています。健康づくりや気軽に参加できる運動に加え、文化活動や地域交流の場へのニーズも高いことが分かりました。

問２５．問２３の地域クラブの活動に参加する場合、１人あたり月額でどの程度の負担であれば参加しやすいと感じますか。（１つ選択）

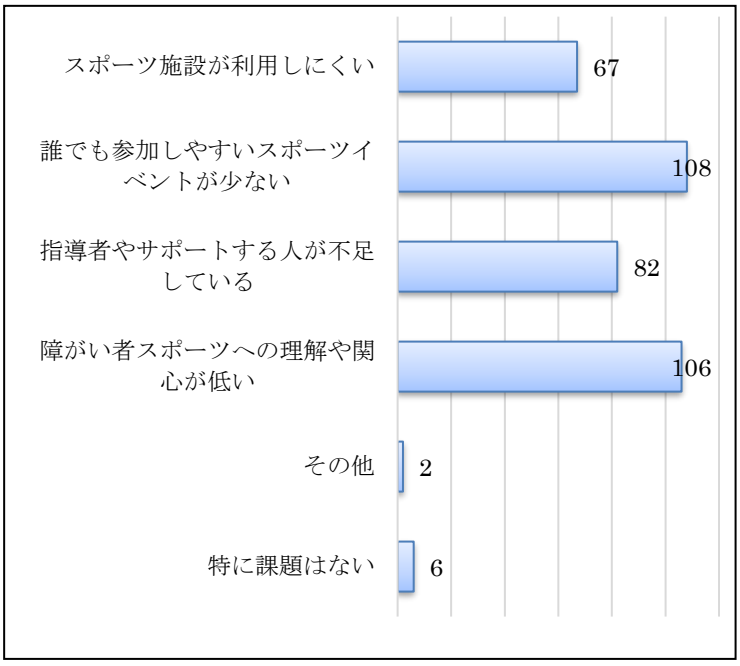
１．無料	39 人
２．月 500 円程度	41 人
３．月 1，000 円程度	61 人
４．月 2，000 円程度	12 人
５．月 3，000 円程度	11 人
６．月 3，000 円を超えてもよい	7 人
無回答	3 人
合計	174 人



「３．月 1,000 円程度」（61 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．月 500 円程度」（41 人）、「１．無料」（39 人）という結果となっています。月額 1,000 円程度までの負担であれば参加しやすいと感じる方が多く、参加しやすい料金設定が求められていることが分かりました。

問２６．　障がいのある人もない人も一緒にスポーツを楽しむために、地域でどのような課題があると思いますか。（複数選択）

１．スポーツ施設が利用しにくい	67 人
２．誰でも参加しやすいスポーツイベントが少ない	108 人
３．指導者やサポートする人が不足している	82 人
４．障がい者スポーツへの理解や関心が低い	106 人
５．その他	2 人
６．特に課題はない	6 人

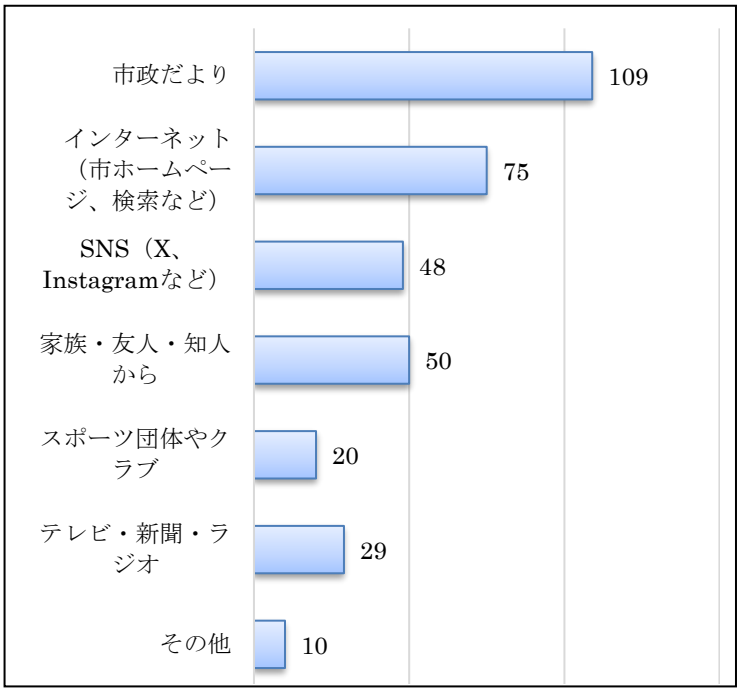


「２．誰でも参加しやすいスポーツイベントが少ない」（108 人）と回答した方が最も多く、次いで「４．障がい者スポーツへの理解や関心が低い」（106 人）、「３．指導者やサポートする人が不足して

いる」（82 人）という結果となっています。障がいの有無に関わらず一緒にスポーツを楽しむためには、参加しやすい機会の充実や周囲の理解促進、人材の確保が課題と考えられていることが分かりました。

問２７．スポーツ活動に関する情報をどのような方法で入手していますか。（複数選択）

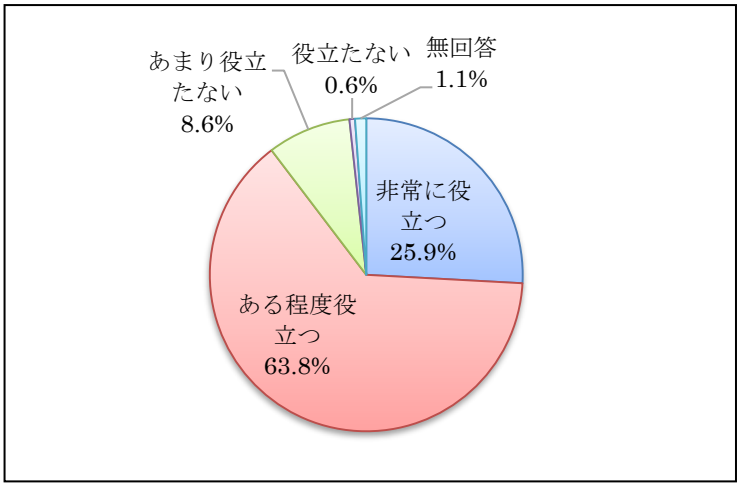
１．市政だより	109 人
２．インターネット（市ホームページ、検索など）	75 人
３．SNS（X、Instagram など）	48 人
４．家族・友人・知人から	50 人
５．スポーツ団体やクラブ	20 人
６．テレビ・新聞・ラジオ	29 人
７．その他	10 人



「１．市政だより」（109 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．インターネット（市ホームページ、検索など)」（75 人)、「４．家族・友人・知人から」（50 人）という結果となっています。スポーツ活動に関する情報は、市政だよりを中心に、インターネットや身近な人から入手している方が多いことが分かりました。

問２８．スポーツが地域活性化にどの程度役立つと思いますか。（１つ選択）【必須】

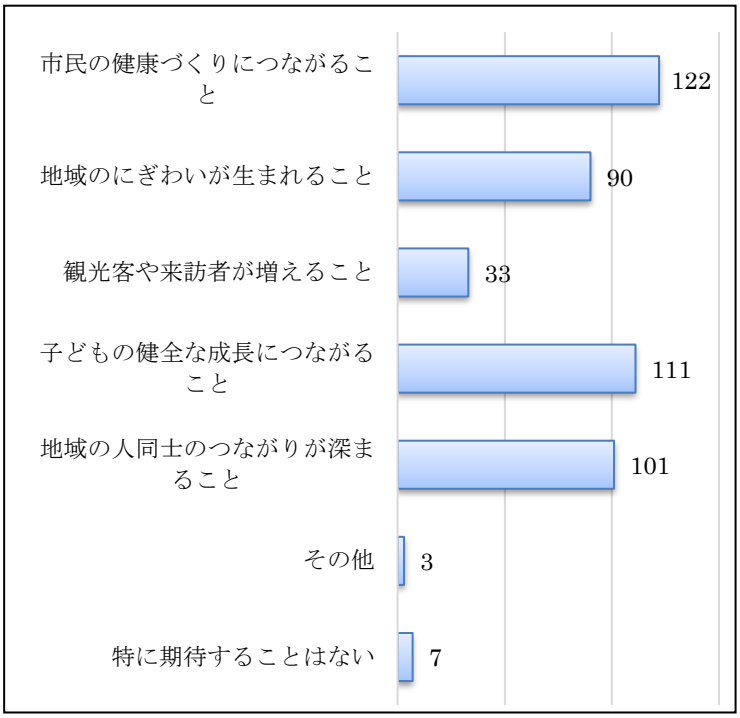
１．非常に役立つ	45 人
２．ある程度役立つ	111 人
３．あまり役立たない	15 人
４．役立たない	1 人
無回答	2 人
合計	174 人



「２．ある程度役立つ」（111 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．非常に役立つ」（45 人)、「３．あまり役立たない」（15 人）という結果となっています。全体の約 9 割の方がスポーツは地域活性化に役立つと考えており、スポーツが地域づくりに果たす役割への期待の高さがうかがえます。

問２９．スポーツによる地域活性化であなたが期待することは何ですか。（複数選択）

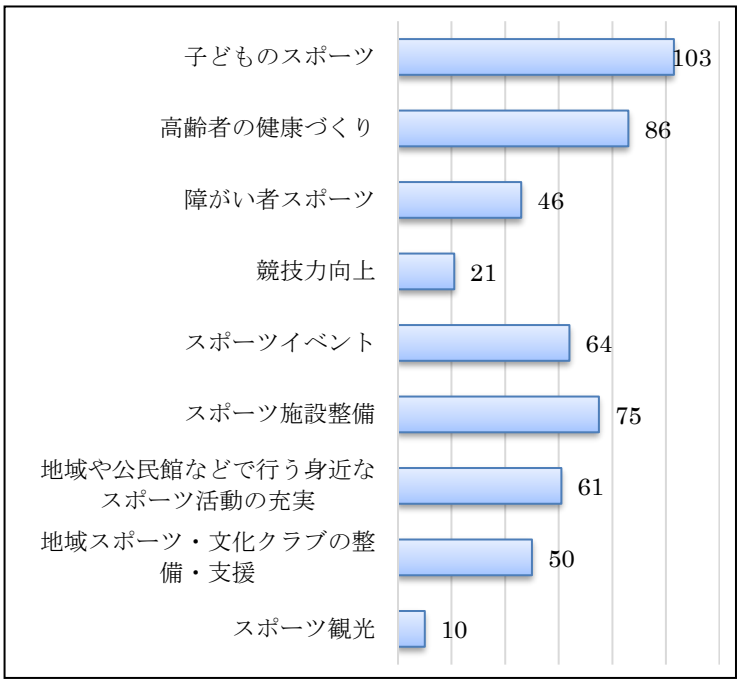
１．市民の健康づくりにつながること	122 人
２．地域のにぎわいが生まれること	90 人
３．観光客や来訪者が増えること	33 人
４．子どもの健全な成長につながること	111 人
５．地域の人同士のつながりが深まること	101 人
６．その他	3 人
７．特に期待することはない	7 人



「１．市民の健康づくりにつながること」（122 人）と回答した方が最も多く、次いで「４．子どもの健全な成長につながること」（111 人）、「５．地域の人同士のつながりが深まること」（101 人）という結果となっています。スポーツによる地域活性化には、健康づくりや子どもの成長、地域住民同士の交流促進への期待が高いことが分かりました。

問３０．今後、市が特に力を入れるべきスポーツ施策は何だと思いますか。（複数選択）

１．子どものスポーツ	103 人
２．高齢者の健康づくり	86 人
３．障がい者スポーツ	46 人
４．競技力向上	21 人
５．スポーツイベント	64 人
６．スポーツ施設整備	75 人
７．地域や公民館などで行う身近なスポーツ活動の充実	61 人
８．地域スポーツ・文化クラブの整備・支援	50 人
９．スポーツ観光	10 人



「１．子どものスポーツ」（103 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．高齢者の健康づくり」（86 人）、「６．スポーツ施設整備」（75 人）という結果となっています。子どもから高齢者まで幅広い世代のスポーツ・健康づくりへの支援に加え、スポーツを行う環境整備への期待が高いことが分かりました。

問３１．問３０の選択肢以外で、市が特に力を入れるべき施策があれば記入してください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

1. スポーツ・運動施設の整備に関する意見

・猛暑対策として、学校体育館などスポーツをする施設にエアコンを整備する
・河川敷の陸上競技場のトイレ整備・拡充
・西条市のような総合運動公園があれば良い。
・市民体育館が他市（松山は規模が違うか、三島、西条の方が綺麗だし大きい。）と比較しても貧相。駐車場も河川敷のみのため、プールや芋炊き等の時期には停められない。
・アリーナ、体育館、サッカー場の整備
・新居浜市全体のスポーツ施設の把握と見直し
・施設に対しての駐車場の充実
・体育館（小中学校）への冷暖房は必須にしてほしいです。
・ラグビーグランドを作る。
・多種多様な競技に活用できるアリーナの建設、具体的な計画のスタートは如何でしょうか。

2. スポーツ施設の利用・予約に関する要望

・施設利用の簡略化
・市民体育の予定が大変取りにくい。使用していないコートも見受けられる。予約システムの改良をお願いしたい。
・いつ、どこで、どうすれば、どんなスポーツが出来るかまとめて欲しい。ふと、何かしたくなっても個別の施設やクラブを探したりするのが大変。
・一部の人ではなく誰でも気軽に参加できるようにならないといけないと思う。情報も少ない。

3. 健康づくり・高齢者支援に関する意見

・自宅までミニバス等で送迎ありの参加可能なシニア対応プログラム希望、参加者にはポイント等付与で高齢者医療費抑制機能も持たせると良いです。
・健康に関するポイント加算イベント
・健康づくりと合わせての取組の推進
・市が健康増進へのイベントを開催して、フィジカル、メンタル共に増進への啓発に積極的に取り組んで欲しい。
・特に高齢者の健康づくりのイベントを希望します。
・高齢者、障害者が滝の宮公園などで自由参加で集まり、軽い運動（ウォーキングや体操、レクレーションなど）を行い、なおかつコミュニケーションの場を作るイベントが月に 1～2 度あると楽しいのでは？

4. 子どもの運動・遊び環境に関する意見

・小学生が外で遊べる場所がないです。
・小学生の社交場、運動する場所を作ってあげてください。
・学校活動で部活動に所属するということは、運動の機会だけではなく、コミュニケーション能力や、忍耐力などを習得するのに大切なことだった。
・夏が暑すぎて長いので、プール期間の延長をお願いします。
・いろいろなスポーツの親子教室または孫と一緒の教室など開催していただくと参加しやすいです。
・3 歳くらいまでの小さな子供達が外で遊べる公園や遊具があまりありません。
・10 代～90 代のそれぞれの世代が主体となってしたいスポーツ・できるスポーツを企画すると、参加し

やすく、同世代の仲間作りができやすいと思います。
・本当に中学でのスポーツが困っている。クラブチームは小学生からやっているスポーツでないと入りにくいし、中学生からなにかを始めたいと思っても無理な雰囲気。

5. スポーツ振興・イベント開催に関する意見

・各スポーツ団体の全国大会を誘致する。
・福西選手や伊藤宏樹選手や福田健二選手の講演
・スポーツ観戦
・新居浜市は力を入れているスポーツがあまりない印象
・今までに成績をのこしてきた人の指導やイベントを増やしてほしいです。
・自然を活用したスポーツの推進

6. 参加支援・費用負担に関する意見

・小さな集まりでも、支援やサポートしてくれると、集まりやすい気がします。
・できるだけお金が要らないようにしてほしい。
・経済支援。やりたい、やってみたいけど高額はキツイ。道具などの貸し出しもしてほしい。

7. 地域交流・コミュニティづくりに関する意見

・地域社会活性化のために自治会に加入する施策を市としての加入啓発活動が必要
・三島公園の様なウォーキングや花公園体育館軽いスポーツ運動場など一か所で皆さんが集まれる場所がほしいです。

問３２．運動やスポーツをするうえでお困りのことや、新居浜市のスポーツ推進に関するご意見やご感想などをお聞かせください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

1. スポーツ施設の整備・環境改善に関する意見

・跳び箱等、器具の貸し出し業務を行なってほしい。
・陸上競技場に屋根をつけてほしい。
・中学校の体育館にエアコンがないこと。
・山根体育館の空調設備をしていただきたいです。
・夏は市民プールが料金も低く使用しやすいが老朽化が目立ち、更衣室やトイレの清潔感があればより多くの人がもっと気持ちよく使えるかなと思います。
・スポーツ施設がボロすぎる。体育館は建て替えが必要。
・施設が少ないと思います
・新居浜市営球場の老朽化、サッカーのグラウンドが奥まっているところにあることなど。
・全国に、誇れる専用のグランドゴルフ場があるとよい。
・夏に運動をするのに、熱中症に気をつけてはいるが、日陰をたくさん作ることや換気、山根体育館や多喜浜体育館や学校体育館の冷房など設備の暑さ対策も一層がんばってもらいたいです。
・少人数からでも利用しやすい屋内スポーツ施設が増えると嬉しいです。
・コロナ以降からウイルス感染が心配です。スポーツ施設の衛生管理や利用者へのマナー告知を徹底してほしい。
・施設や学校体育館のエアコン完備を希望する。
・市民体育館（川東）山根体育館（角野）がありましたが、家から距離がある為、ほとんど利用しません。

中萩校区在中ですが、校区内人口が多いわりにスポーツ施設がありません。

2. スポーツ施設の利用・情報発信に関する意見

・低コストと開場時間の長さは努力してくださっていると思います。混雑状況がスマホ等で確認できるとより活用しやすいのではないでしょうか
・体育館でのヨガに参加していますが、先着順のため人気のプログラムは１時間前くらいから並んで待たないと参加できません
・どこで何があるか情報がわかりにくい。
・施設の管理と運用は柔軟に。
・運動ができる施設などの利用条件や施設の情報など、わかりやすくまとめた冊子があれば利用しやすくなると思います。
・施設の管理や整備を充実させること。情報発信をしっかりする。
・いつでも誰でも参加できるようにしてほしい。
・市としてもっとアピールすることが大切だと感じます。

3. 高齢者・交通支援に関する意見

・足の確保、交通機関が乏しいため、高齢者は参加が難しいです。
・足が痛いので動作が遅く、気が引ける。
・母は足が弱くなり痛みもあります。近くに歩行浴のできる温泉や温水プールがありません。
・路線バスを定額で利用できるシステムがあると良いと思っています。

4. 子どものスポーツ・部活動に関する意見

・あかがねベースボールクラブ（ABC）の小学生の部が廃止されたことに伴い、野球人口が益々減少することを懸念しています。
・海開き、プール開きから終わるのが早すぎます。
・運動初心者でも参加しやすい企画があればと思う。
・運動が苦手な子が通年で学べる有料の総合運動塾（プール、鉄棒、体操、陸上）を市が委託で行ってほしい。
・公道に出る前に、自転車の練習ができる安全な場所があれば良いと思った。
・学校部活動の地域移行について学校と地域の指導者との意識に大きな乖離があると感じる。
・共働きだと子供にスポーツの習い事をさせにくい。
・障害児が参加できるスポーツ教室などを増やして欲しい。
・新居浜にて子供のスポーツクラブに在籍していましたが専門的に指導できる人間がいないため県外へ行っています。
・幼児が体を動かして遊べる場所が少ない
・剣道や、その他スポーツで大人でも習える教室が少ない。

5. スポーツ振興・イベント・地域活性化に関する意見

・あかがねマラソン、盛り上がりそうですね！
・市民体育館でしているミラクルスマイルは色んな所でアピールしていていいと思う。
・有名選手を育てる。
・今治市は今治 FC が出来て盛り上がっているので、新居浜市もプロのスポーツ競技を誘致し、地域の活性化に繋げていただきたいです。
・愛媛 FC のファンクラブに加入しています。新居浜市のマッチデーの時に愛媛 FC とのコラボ商品を販売すると良いのではないか。

6. スポーツ環境・まちづくりに関する意見

・「住友鉄道跡地自転車歩行者専用道路」が新しい道路によって 2 か所分断されてしまい、不便に感じています。暮らしの豊かさや健康づくりにもつながる歩行者や自転車に優しい環境が必要。
・河川敷の芝生のグラウンドゴルフ場に犬を入れないように。
・公園が少ない。

7. 費用負担・支援制度に関する意見

・市民プール 10 円は時代に合わない料金と思います。
・ケンポスの特典をもっと魅力あるものにしてほしい。
・高齢者については、今治市や西条市等は高齢者割引があり半額で使用できる。
・スポーツ振興課からの強化費補助について再考して欲しい。

＜まとめ＞

今回のアンケートでは、多くの方が運動不足を感じている一方で、ウォーキングや筋力トレーニングなど、身近で取り組みやすい運動を継続して実施していることが分かりました。また、運動やスポーツを行う目的としては健康づくりや体力維持が多く挙げられ、市民の皆さんの健康への関心の高さがうかがえます。さらに、スポーツには健康づくりだけでなく、子どもの健全な成長や地域のつながりづくり、地域活性化への効果も期待されていることが分かりました。

今後の施策としては、子どものスポーツ環境の充実や高齢者の健康づくりへの支援、スポーツ施設の整備・充実に対する要望が多く寄せられました。また、学校部活動の地域移行や地域スポーツ・文化クラブについても関心が高く、専門的な指導、安心・安全な活動環境、多世代が交流できる機会が求められていることが分かりました。

自由記述では、スポーツ施設の老朽化対策や空調設備の整備、利用しやすい予約・情報発信の仕組みづくりを求める意見が多く見られたほか、誰もが気軽に参加できる運動機会やスポーツイベントの充実を望む声も寄せられました。

今回いただいた貴重なご意見を次期スポーツ振興計画の策定や今後のスポーツ施策の参考とし、市民の皆さんが生涯にわたり「する」「みる」「ささえる」スポーツに親しみ、年齢や障がいの有無にかかわらず誰もがスポーツを通じて健康で活力ある生活を送ることができる環境づくりに取り組んでいきます。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

（担当課：スポーツ振興課）

テーマ⑥　新居浜市民の健康意識に関する調査について

【調査趣旨】

新居浜市の死因別死亡割合の１位はがんであり、特に男性では胃がん・肺がん、女性では肺がん・肝臓がんの死亡率が全国平均より高い状況です。

新居浜市が目指す健康寿命の延伸を実現するためには、より若い世代からの生活習慣病の発症予防及び重症化予防が大変重要です。そのためには、運動、栄養等の生活改善や、特定健診、がん検診、人間ドック等を受診することによる疾病の早期発見・早期治療、重症化予防が重要となります。

また、新居浜市の死因別死亡割合の２位は心疾患です。心疾患は長く付き合う病気で、入退院を繰り返しながら次第に体力やQOLが低下していくため、介護、医療経済の観点でも大きな社会課題となっています。心不全や、その背景にある高血圧は、新居浜市においても健康課題の一つです。

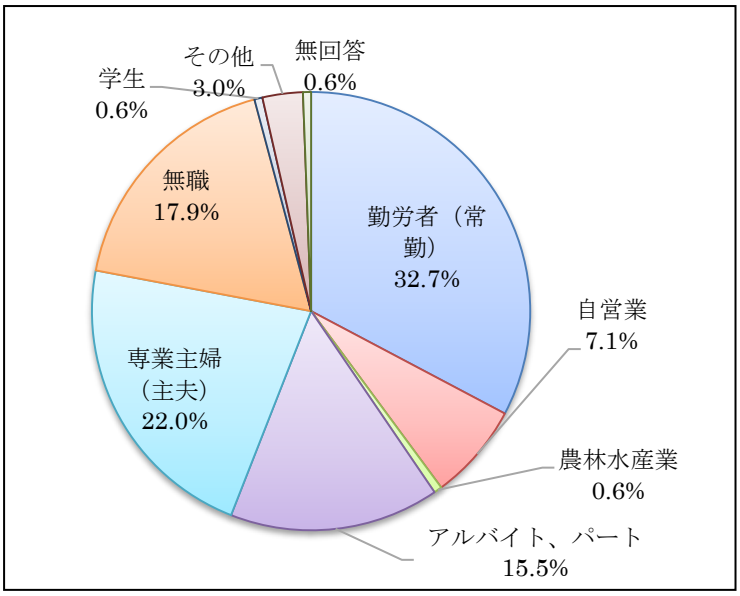
今回のアンケートでは、市民の皆さんの健診受診状況や健診等に関する意識や意見を伺い、心不全の危険因子の一つである高血圧症などの生活習慣について実態を把握することによって、今後の健康づくりに活用していきたいと考えています。

（担当課：健康推進課（保健センター））

（※問１はモニター属性特定のための設問であり、省略）

問２．あなたの職業を教えてください。【必須】（１つ選択）

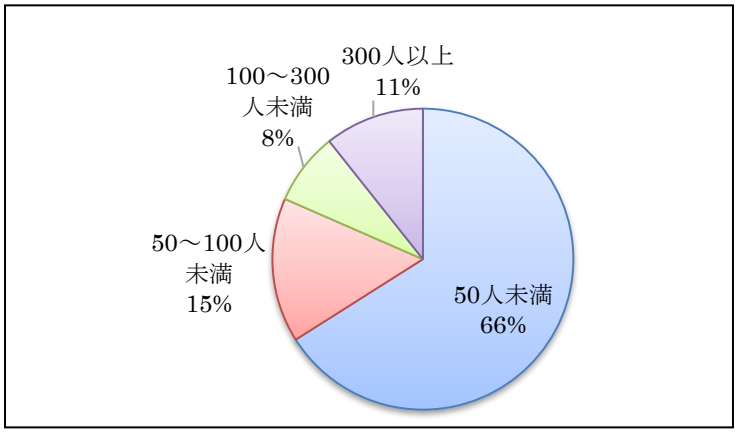
１．勤労者（常勤）	55 人
２．自営業	12 人
３．農林水産業	1 人
４．アルバイト、パート	26 人
５．専業主婦（主夫）	37 人
６．無職	30 人
７．学生	1 人
８．その他	5 人
無回答	1 人
合　計	168 人



「１．勤労者（常勤）」（55 人）と回答した方が最も多く、次いで「５．専業主婦（主夫）」（37 人）、「６．無職」（30 人）という結果となっています。

問３．　問２で「１．勤労者（常勤）」「２．自営業」「３．農林水産業」「４．アルバイト、パート」を選んだ方にお聞きします。職場（事業所）の従業員数は何人ですか。（１つ選択）

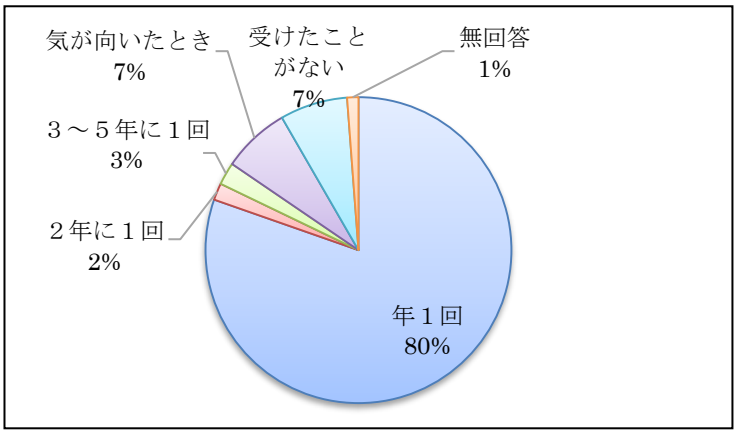
１．50 人未満	68 人
２．50～100 人未満	16 人
３．100～300 人未満	8 人
４．300 人以上	11 人



「１．50 人未満」（68 人）と答えた方が全体の 66%で約７割を占める結果となりました。

問４．　定期的に健康診査（血液検査）を受診していますか。（市の健診、職場健診、人間ドックを含む）　【必須】（１つ選択）

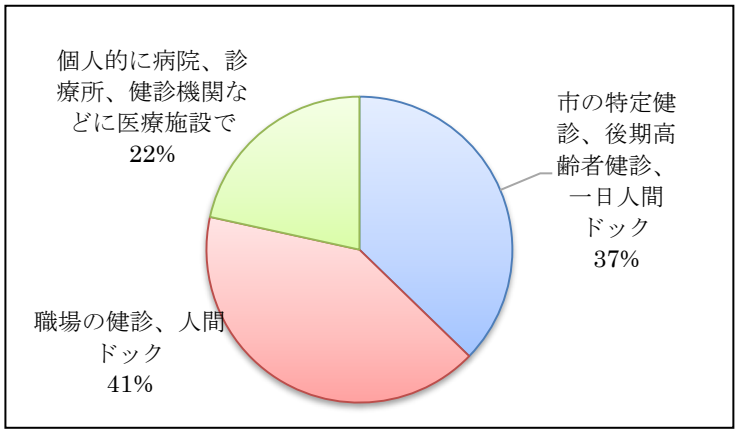
１．年１回	135 人
２．２年に１回	3 人
３．３～５年に１回	4 人
４．気が向いたとき	12 人
５．受けたことがない	12 人
無回答	2 人
合計	168 人



「１．年１回」（135 人）と回答した方が最も多く、次いで「４．気が向いたとき」と「５．受けたことがない」（各 12 人）という結果となっています。多くの方が定期的に健康診査を受診しており、健康管理への意識が高いことが分かりました。

問５．　問４で「１．年１回」「２．２年に１回」「３．３～５年に１回」「４．気が向いたとき」を選んだ方にお聞きします。どこで健康診査（血液検査）を受診していますか。（１つ選択）

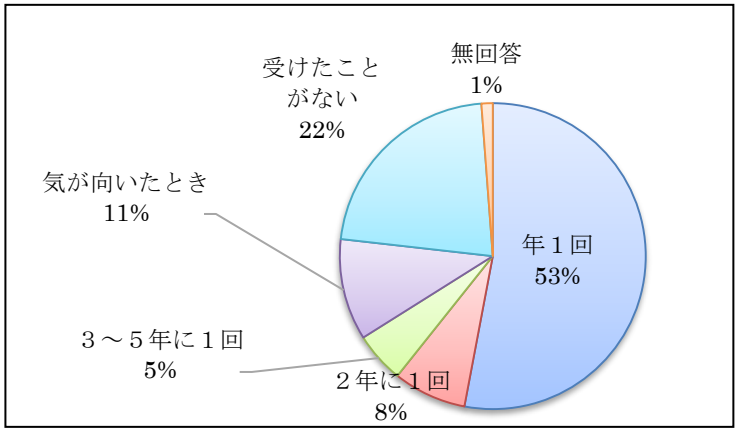
１．市の特定健診、後期高齢者健診、一日人間ドック	57 人
２．職場の健診、人間ドック	63 人
３．個人的に病院、診療所、健診機関などに医療施設で	33 人



「２．職場の健診、人間ドック」（63 人）と答えた方が最も多く全体の 41%を占める結果となりました。

問６．　定期的にがん検診を受診していますか。（市の健診、職場健診、人間ドックを含む）【必須】（１つ選択）

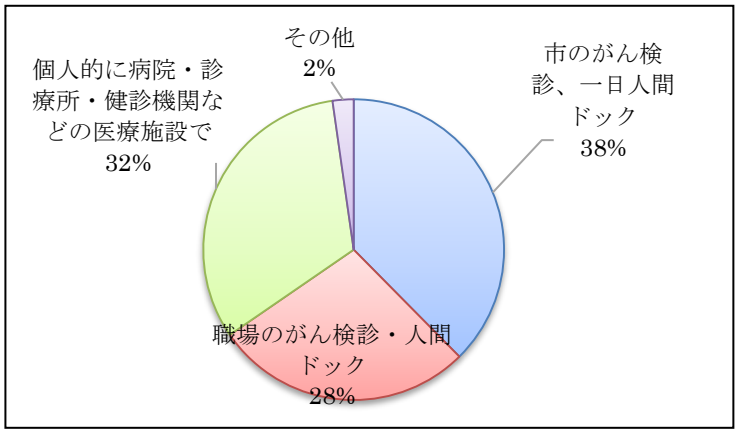
１．年１回	89 人
２．２年に１回	13 人
３．３～５年に１回	9 人
４．気が向いたとき	18 人
５．受けたことがない	37 人
無回答	2 人
合　計	168 人



「１．年１回」（89 人）と回答した方が最も多く、次いで「５．受けたことがない」（37 人）、「４．気が向いたとき」（18 人）という結果となっています。

問７．　問６で「１．年１回」「２．２年に１回」「３．３～５年に１回」「４．気が向いたとき」を選んだ方にお聞きします。どこでがん検診を受診していますか。（１つ選択）

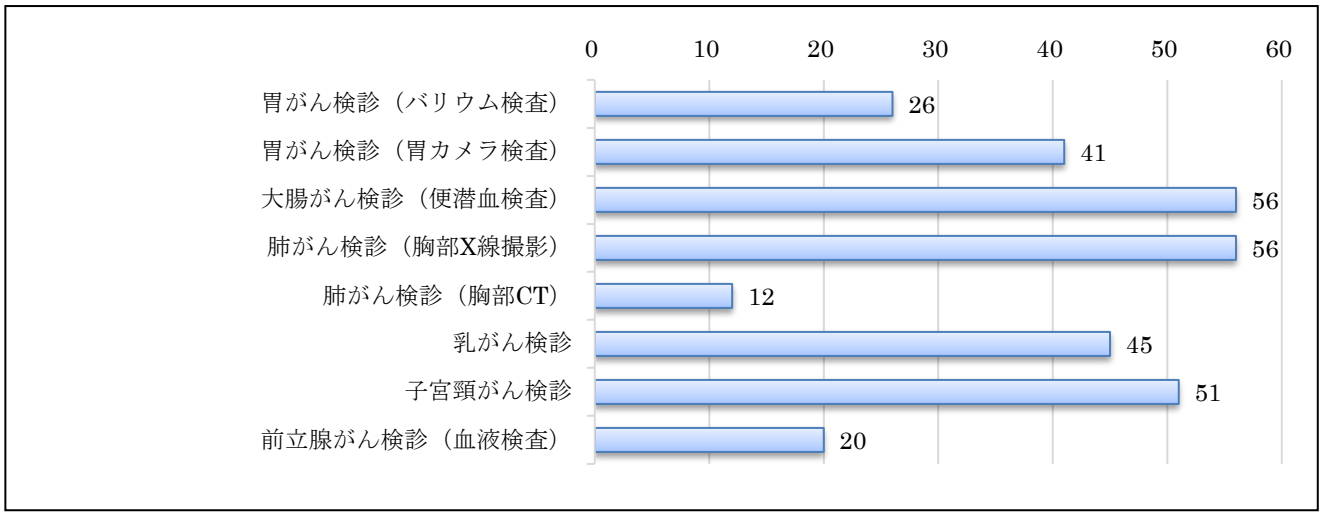
１．市のがん検診、一日人間ドック	50 人
２．職場のがん検診・人間ドック	37 人
３．個人的に病院・診療所・健診機関などの医療施設で	43 人
４．その他	3 人



「１．市のがん検診、一日人間ドック」（50 人）と回答した方が最も多く、次いで「３．個人的に病院・診療所・健診機関などの医療施設で」（43 人）、「２．職場のがん検診・人間ドック」（37 人）という結果となっています。

問８．問６で「１．年１回」「２．２年に１回」「３．３～５年に１回」「４．気が向いたとき」を選んだ 方にお聞きします。この１年間にがん検診（市のがん検診や職場健診、人間ドックなど）を受けまし たか。受けた項目をお答えください。 ※この１年間とは令和８年４月～現在までの期間のことを言います。ただし、乳がん・子宮頸がん検診については、令和７年４月～現在までの２年間で受けた方がお答えください。（複数選択）

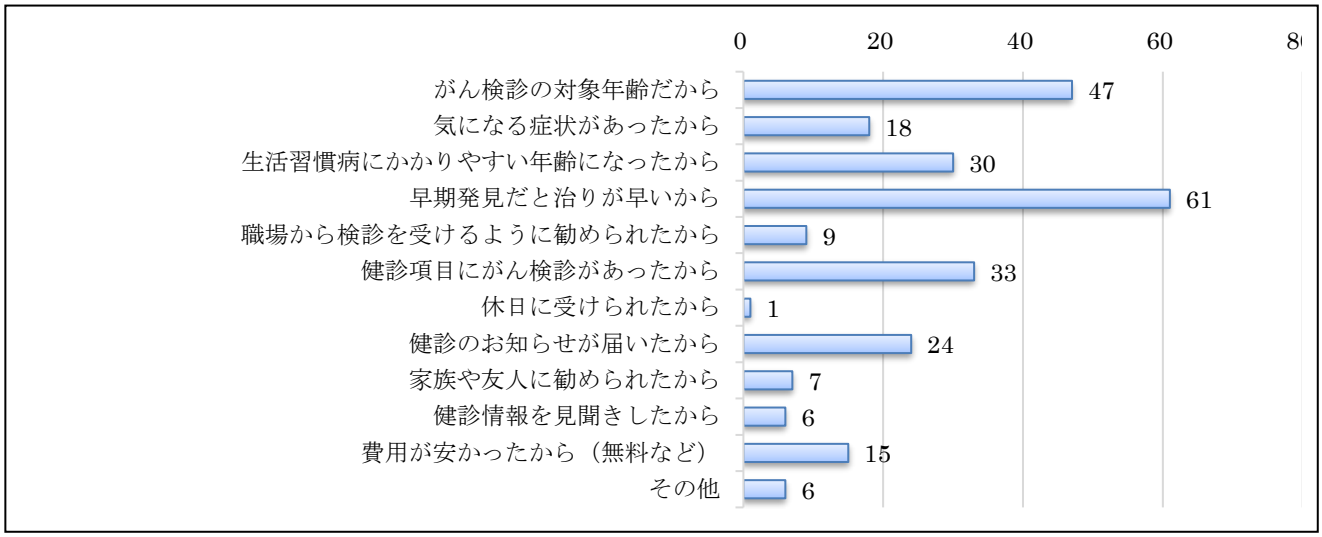
１．胃がん検診（バリウム検査）	26 人	５．肺がん検診（胸部 CT）	12 人
２．胃がん検診（胃カメラ検査）	41 人	６．乳がん検診	45 人
３．大腸がん検診（便潜血検査）	56 人	７．子宮頸がん検診	51 人
４．肺がん検診（胸部 X 線撮影）	56 人	８．前立腺がん検診（血液検査）	20 人



「３．大腸がん検診（便潜血検査）」と「４．肺がん検診（胸部Ｘ線撮影）」（各 56 人）と回答した方が最も多く、次いで「７．子宮頸がん検診」（51 人）、「６．乳がん検診」（45 人）という結果となっています。

問９．問６で「１．年１回」「２．２年に１回」「３．３～５年に１回」「４．気が向いたとき」を選んだ方にお聞きします。がん検診を受けた理由は何ですか。（複数選択）

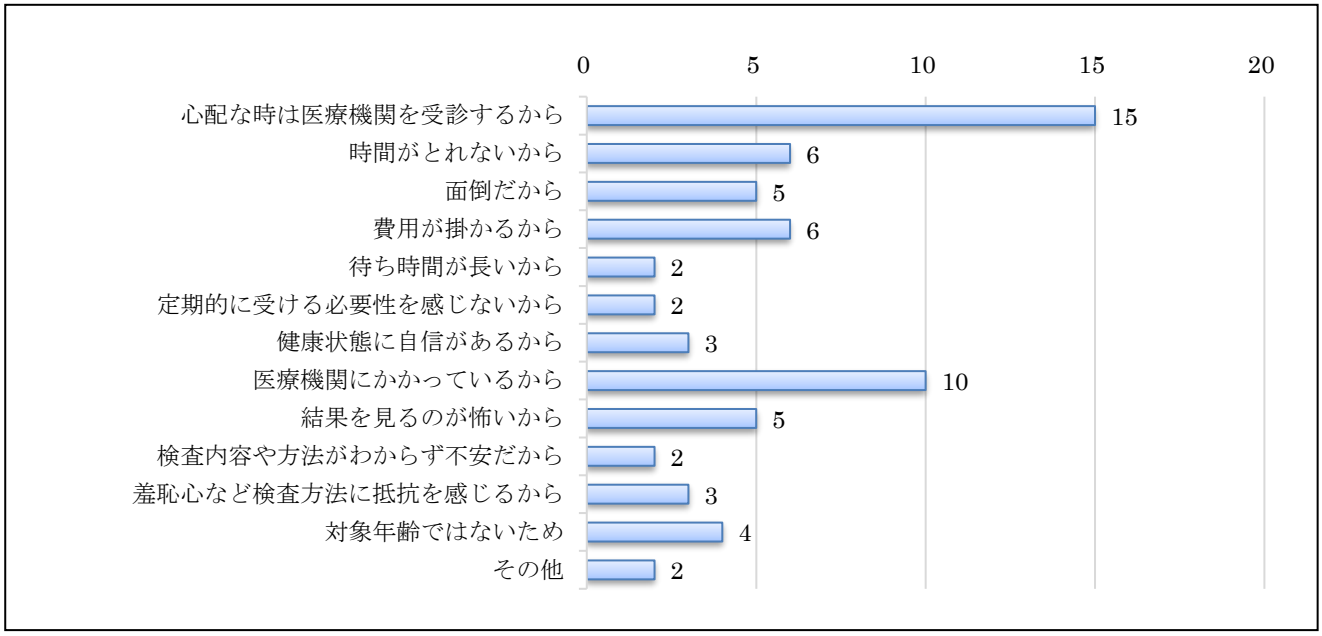
１．がん検診の対象年齢だから	47 人	７．休日に受けられたから	1 人
２．気になる症状があったから	18 人	８．健診のお知らせが届いたから	24 人
３．生活習慣病にかかりやすい年齢になったから	30 人	９．家族や友人に勧められたから	7 人
４．早期発見だと治りが早いから	61 人	１０．健診情報を見聞きしたから	6 人
５．職場から検診を受けるように勧められたから	9 人	１１．費用が安かったから（無料など）	15 人
６．健診項目にがん検診があったから	33 人	１２．その他	6 人



「４．早期発見だと治りが早いから」（61 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．がん検診の対象年齢だから」（47 人）、「６．健診項目にがん検診があったから」（33 人）という結果となっています。

問１０．問６でがん検診を「５．受けたことがない」と答えた方にお聞きします。がん検診を受けていない理由は何ですか。（複数選択）

１．心配な時は医療機関を受診するから	15 人	８．医療機関にかかっているから	10 人
２．時間がとれないから	6 人	９．結果を見るのが怖いから	5 人
３．面倒だから	5 人	１０．検査内容や方法がわからず不安だから	2 人
４．費用が掛かるから	6 人	１１．羞恥心など検査方法に抵抗を感じるから	3 人
５．待ち時間が長いから	2 人	１２．対象年齢ではないため	4 人
６．定期的に受ける必要性を感じないから	2 人	１３．その他	2 人
７．健康状態に自信があるから	3 人		

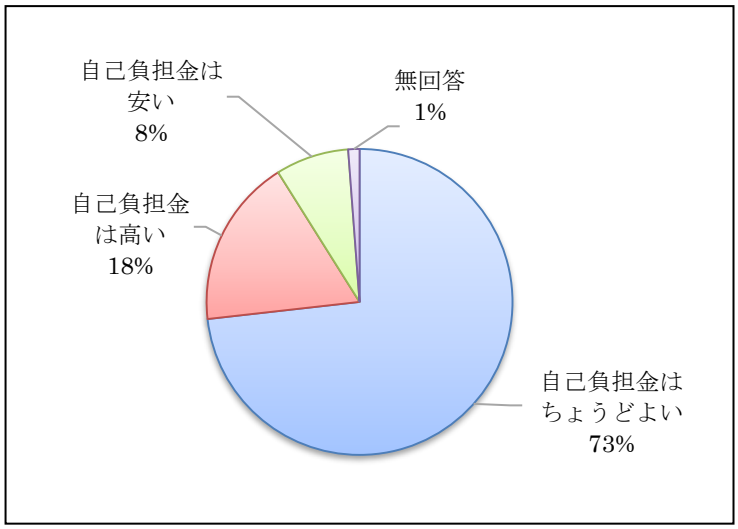


「１．心配な時は医療機関を受診するから」（15 人）と回答した方が最も多く、次いで「８．医療機関にかかっているから」（10 人）、「２．時間がとれないから」と「４．費用が掛かるから」（各 6 人）という結果となっています。

問１１．市が実施するがん検診の自己負担金についてのご意見をお聞かせください。（１つ選択）

（参考）自己負担金：胃がん 1，000 円　肺がん（X 線）500 円　大腸がん 500 円
乳がん 1，000 円　子宮頸がん 1，000 円

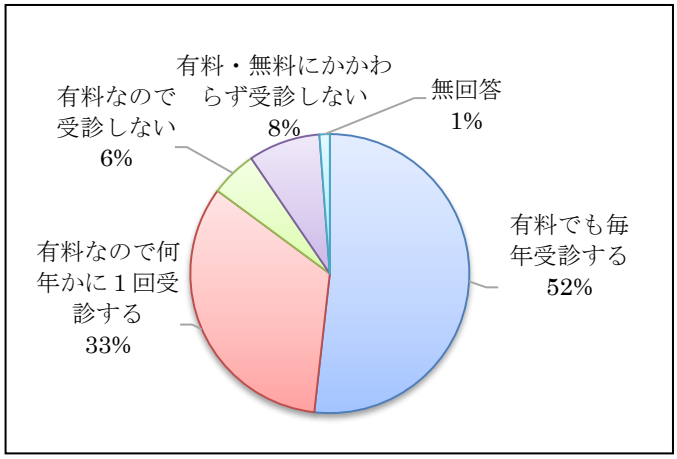
１．自己負担金はちょうどよい	123 人
２．自己負担金は高い	30 人
３．自己負担金は安い	13 人
無回答	2 人
合計	168 人



「１．自己負担金はちょうどよい」（123 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．自己負担金は高い」（30 人）、「３．自己負担金は安い」（13 人）という結果となっています。

問１２．がん検診の自己負担金が有料でも、がん検診を受診しますか。（１つ選択）

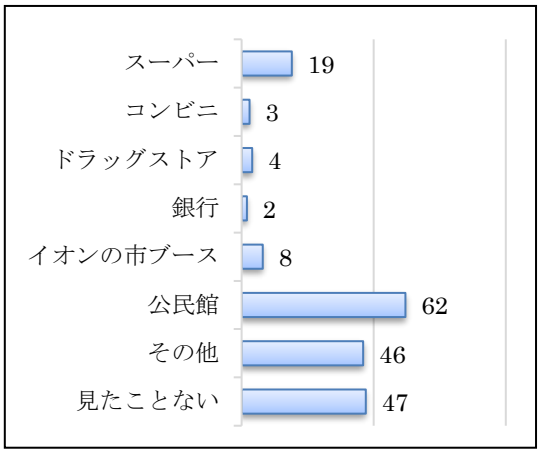
１．有料でも毎年受診する	87 人
２．有料なので何年かに１回受診する	56 人
３．有料なので受診しない	9 人
４．有料・無料にかかわらず受診しない	14 人
無回答	2 人
合　計	168 人



「１．有料でも毎年受診する」（87 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．有料なので何年かに１回受診する」（56 人）、「４．有料・無料にかかわらず受診しない」（14 人）という結果となっています。

問１３．市の集団健診カレンダーをどこで見たことがありますか。（複数選択）

１．スーパー	19 人
２．コンビニ	3 人
３．ドラッグストア	4 人
４．銀行	2 人
５．イオンの市ブース	8 人
６．公民館	62 人
７．その他	46 人
８．見たことない	47 人

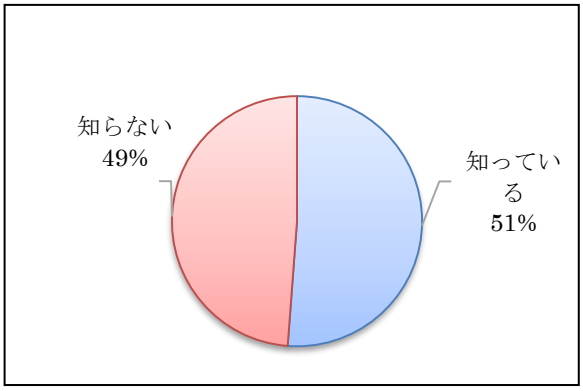


「６．公民館」（62 人）と回答した方が最も多く、次いで「８．見たことない」（47 人）、「７．その他」（46 人）という結果となっています。

問１４．集団健診の WEB 予約ができることを知っていますか。　【必須】（１つ選択）

１．知っている	86 人
２．知らない	82 人
合　計	168 人

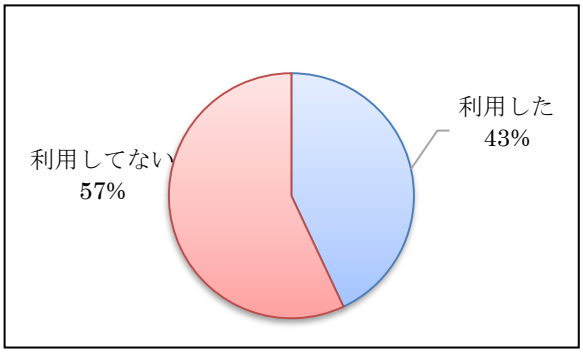
「１．知っている」（86 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．知らない」（82 人）という結果となっています。



問１５．問１４で「１．知っている」と答えた方にお聞きします。WEB 予約を利用しましたか。（１つ選択）

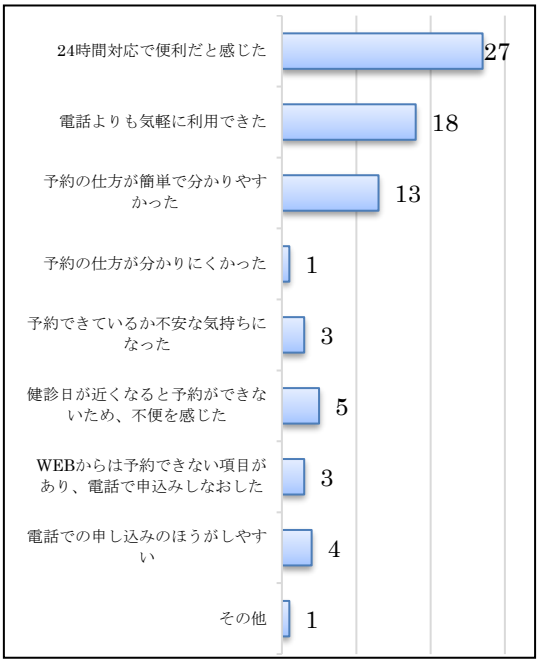
１．利用した	40 人
２．利用してない	53 人

「２．利用してない」（53 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．利用した」（40 人）という結果となっています。



問１６．問１５で「１．利用した」と答えた方にお聞きします。利用しての感想をお聞かせください。（複数選択）

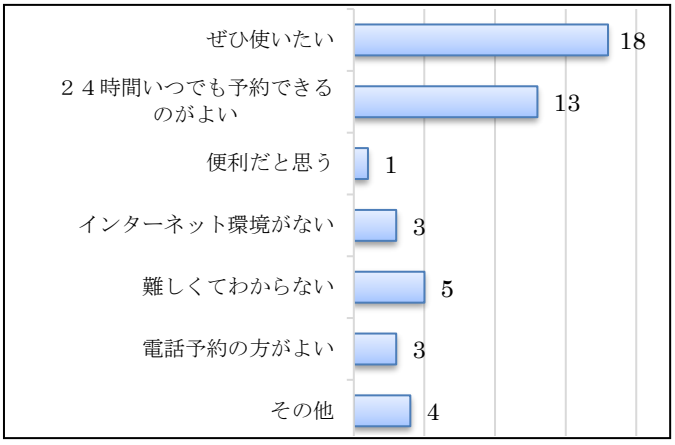
１．24 時間対応で便利だと感じた	27 人
２．電話よりも気軽に利用できた	18 人
３．予約の仕方が簡単で分かりやすかった	13 人
４．予約の仕方が分かりにくかった	1 人
５．予約できているか不安な気持ちになった	3 人
６.健診日が近くなると予約ができないため、不便を感じた	5 人
７．WEB からは予約できない項目があり、電話で申込みしなおした	3 人
８．電話での申し込みのほうがしやすい	4 人
９．その他	1 人



「１．24 時間対応で便利だと感じた」（27 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．電話よりも気軽に利用できた」（18 人）、「３．予約の仕方が簡単で分かりやすかった」（13 人）という結果となっています。

問１７．問１４で「２．知らない」と答えた方にお聞きします。集団健診の WEB 予約についてどのように思いますか。（複数選択）

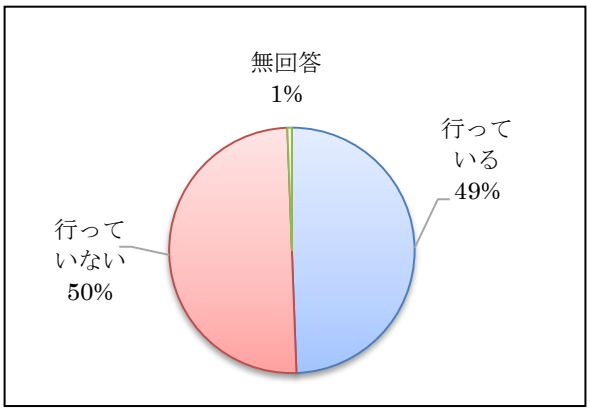
１．ぜひ使いたい	18 人
２．２４時間いつでも予約できるのがよい	13 人
３．便利だと思う	1 人
４．インターネット環境がない	3 人
５．難しくてわからない	5 人
６．電話予約の方がよい	3 人
７．その他	4 人



「１．ぜひ使いたい」（18 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．24 時間いつでも予約できるのがよい」（13 人）、「５．難しくてわからない」（5 人）という結果となっています。

問１８．あなたは１日延べ 30 分以上の運動を、週２日以上行っていますか。（１つ選択）

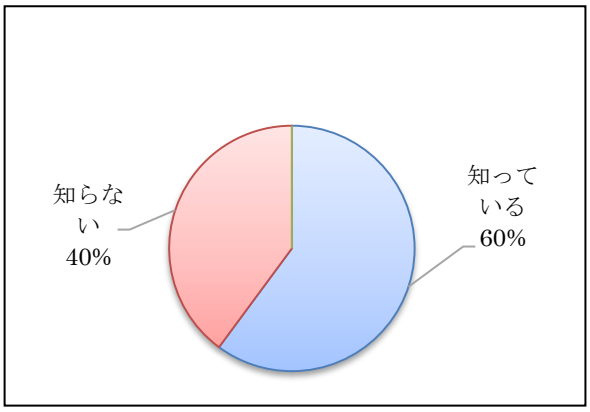
１．行っている	83 人
２．行っていない	84 人
無回答	1 人
合計	168 人



「２．行っていない」（84 人）と答えた方がわずかに多く、全体の 50%という結果となりました。

問１９．一日の歩数が男性 9，000 歩、女性 8，000 歩（65 歳以上は男性 7，000 歩、女性 6，000 歩）で生活習慣病予防に効果的であることをご存知ですか。（１つ選択）

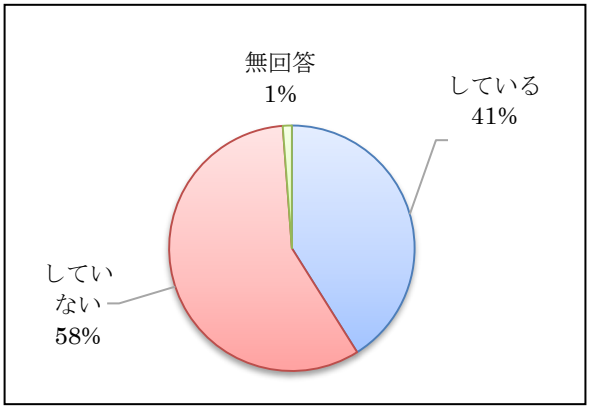
１．知っている	101 人
２．知らない	67 人
無回答	0 人
合計	168 人



「１．知っている」（101 人）と回答した方が最も多く、次いで「２．知らない」（67 人）という結果となっています。

問２０．毎日歩数を計測していますか？（１つ選択）

１．している	69 人
２．していない	97 人
無回答	2 人
合計	168 人

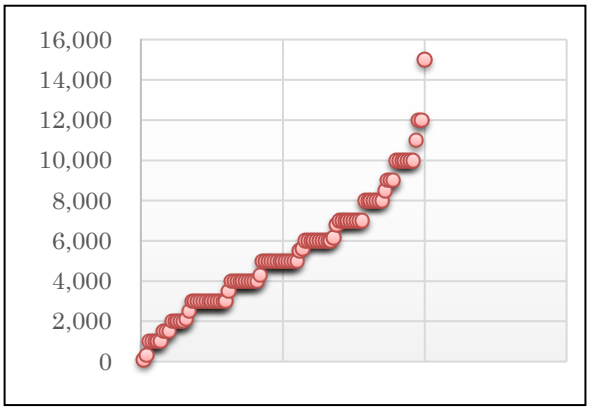


「２．していない」（97 人）と回答した方が最も多く、次いで「１．している」（69 人）という結果となっています。

問２１．問２０で「１．している」と答えた方にお聞きします。１日の平均歩数を教えてください。（数値記入）

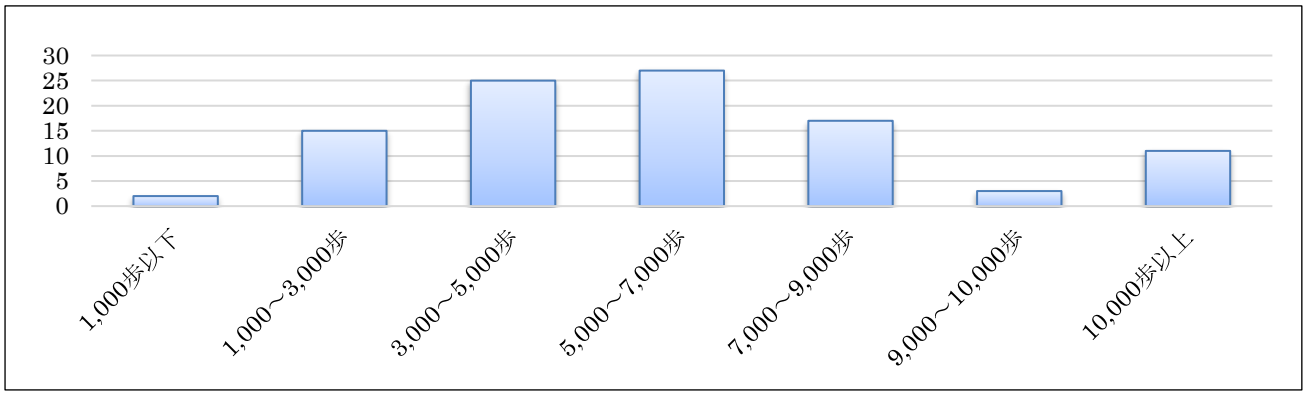
回答者数	100 人
平均歩数	5, 348 歩
最大歩数	15, 000 歩
最小歩数	100 歩

※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。



最も多い回答は 5, 000 歩、4, 000 歩（各 9 人）で、次いで 3, 000 歩（8 人）が多く挙げられました。

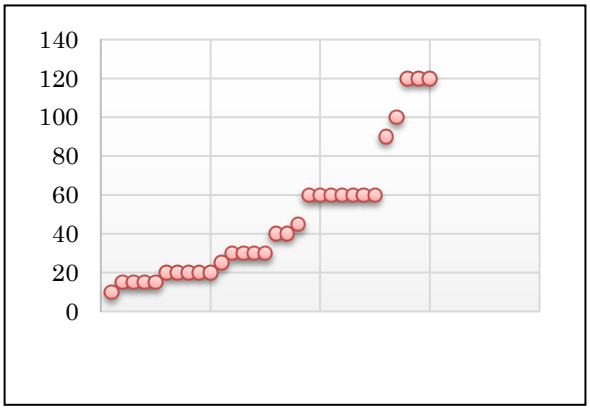
全体の平均は 5, 348 歩でした。



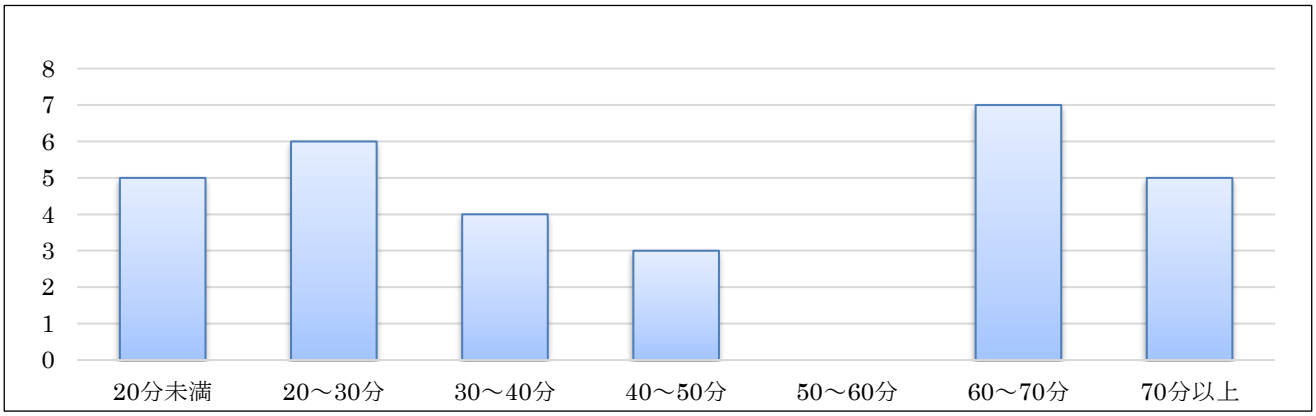
問２２．毎日歩いている時間はどのくらいですか。不明な方、意識して歩いていない方は０分とお答えください。（数値記入）

回答者数（0 回答含まず）	30 人
平均時間	47 分
最大歩行時間	120 分
最小歩行時間	10 分

※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。

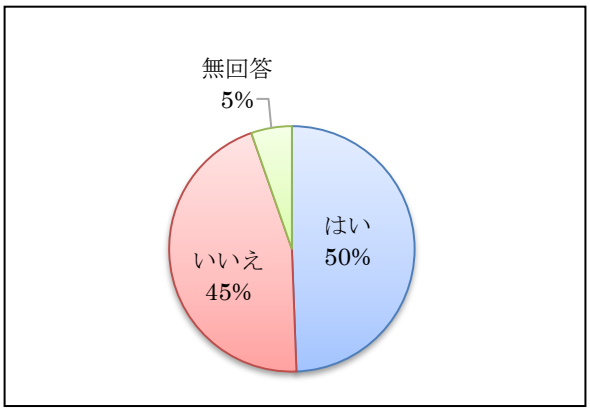


最も多い回答は 60 分（7 人）で、次いで 20 分（5 人）が多い結果となりました。平均は 47 分でした。



問２３．睡眠によって十分に休養ができていると感じますか。　【必須】（１つ選択）

１．はい	83 人
２．いいえ	76 人
無回答	9 人
合計	168 人



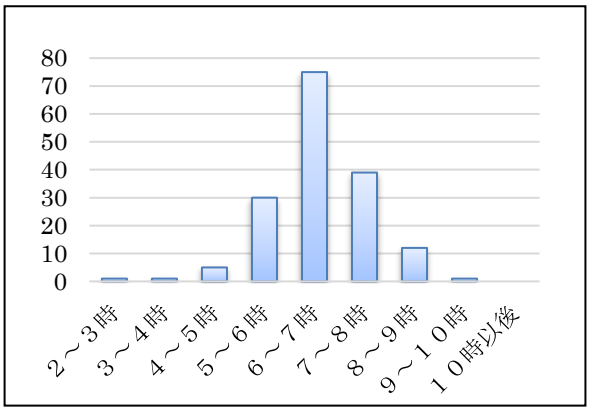
睡眠によって十分に休養ができていると感じている方は 83 人で全体の 50%いる一方で、十分に休養ができていないと感じている方もほぼ近い人数の 76 人で、45%という結果となりました。

問２４．起床時間は平均して何時ごろですか。　【必須】（数字記入）

回答者数	164 人
最も早い時刻	3 時
最も遅い時刻	9 時
最も多い時間帯	6～7 時

※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。

起床時間の平均として最も多い時間帯は 6～7 時という結果となりました。

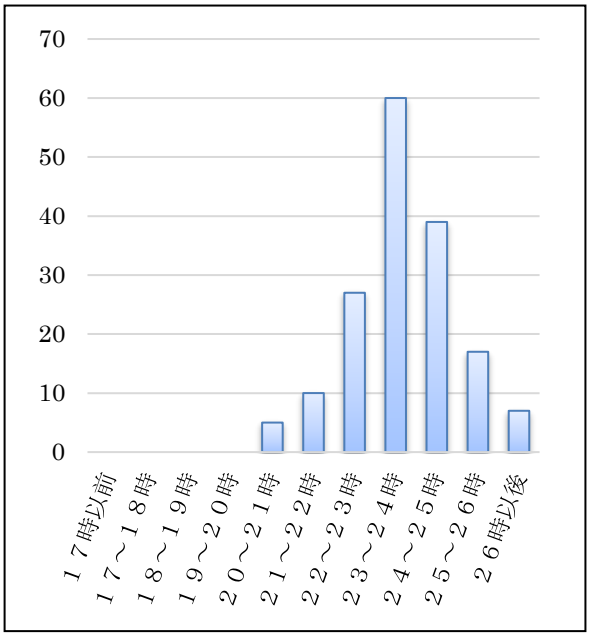


問２５．就寝時間は平均して何時ごろですか。　【必須】（数字記入）

回答者数	165 人
最も早い時刻	20 時
最も遅い時刻	29 時（5 時）
最も多い時間帯	23～24 時

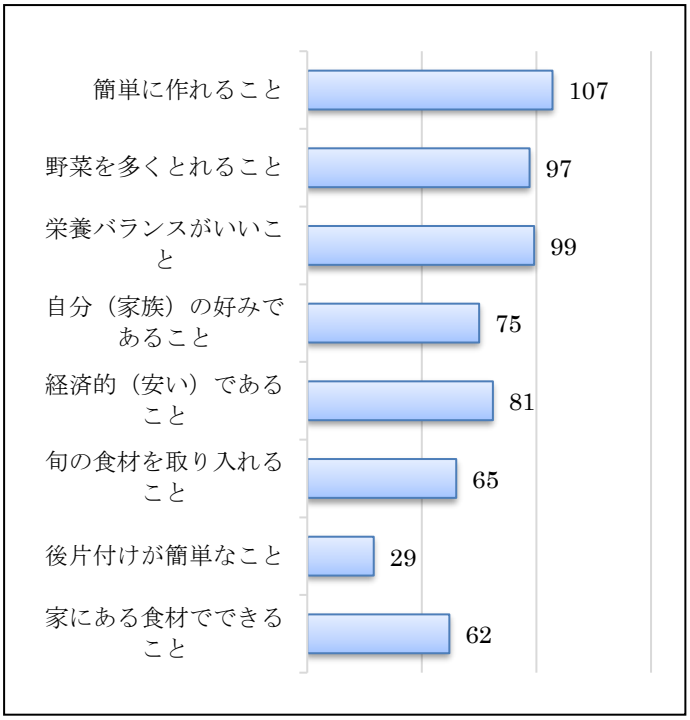
※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。

就寝時間の平均として最も多い時間帯は 23～24 時という結果となりました。



問２６．食事をするとき（献立を決めるとき）に重要視していることは何ですか。（複数選択）

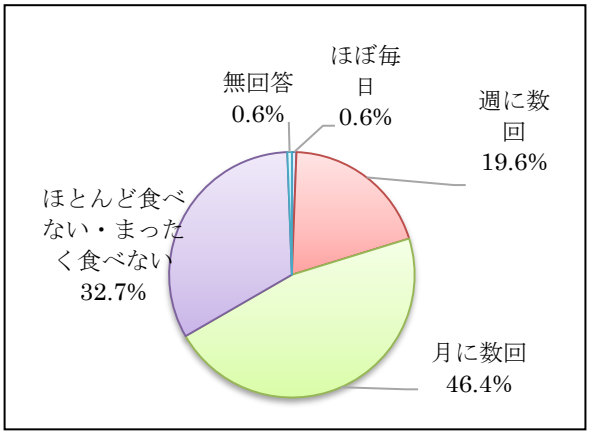
１．簡単に作れること	107 人
２．野菜を多くとれること	97 人
３．栄養バランスがいいこと	99 人
４．自分（家族）の好みであること	75 人
５．経済的（安い）であること	81 人
６．旬の食材を取り入れること	65 人
７．後片付けが簡単なこと	29 人
８．家にある食材でできること	62 人



食事をするとき（献立を決めるとき）に重要視していることとして、最も多かったのは「１．簡単に作れること」107 人で、次いで「３．栄養バランスがいいこと」99 人、「２．野菜を多くとれること」97 人という結果となりました。

問２７．インスタント食品（即席めん等）はどのくらい利用しますか。（１つ選択）

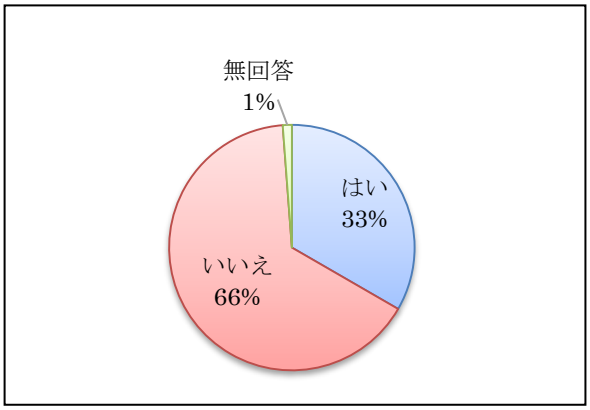
１．ほぼ毎日	1 人
２．週に数回	33 人
３．月に数回	78 人
４．ほとんど食べない・まったく食べない	55 人
無回答	1 人
合　計	168 人



「３．月に数回」が 78 人で最も多く、次いで「４．ほとんど食べない・まったく食べない」が 55 人、「２．週に数回」が 33 人という結果となりました。

問２８．普段から血圧を計測して把握していますか？（１つ選択）

１．はい	56 人
２．いいえ	110 人
無回答	2 人
合　計	168 人



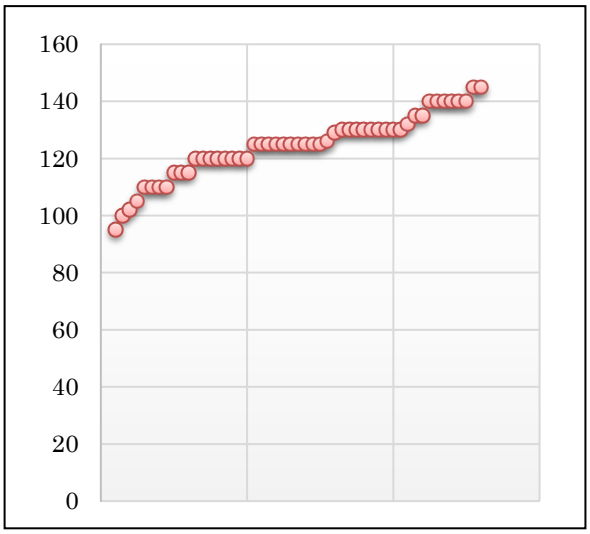
「２．いいえ」が 110 人で最も多く、「１．はい」は 56 人という結果となりました。血圧を日頃から把握していない方が多いことがうかがえます。

問２９．問２８で「１．はい」と答えた方（普段から血圧を測定している方）にお聞きします。あなたの普段の最高血圧を教えてください。不明な方、回答したくない方は空白にしてください。（数値記入）

回答者数	53 人
平均値	126 mmHg
最大値	160 mmHg
最小値	95 mmHg

※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。

最高血圧の平均値は 126mmHg で、120～140mmHg の範囲に多く分布している結果となりました。

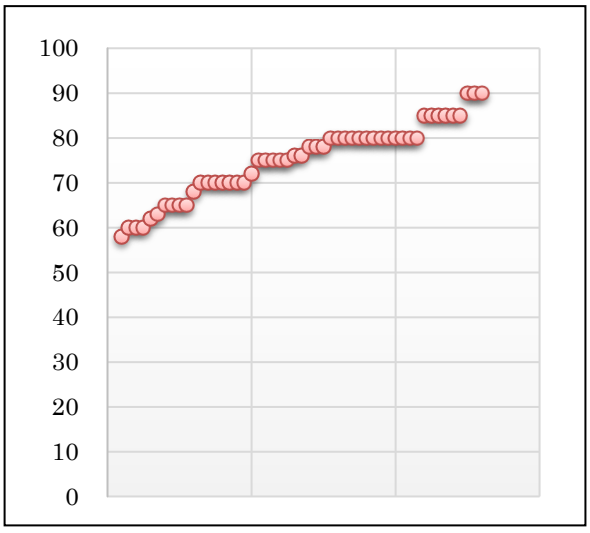


問３０．問２８で「１．はい」と答えた方（普段から血圧を測定している方）にお聞きします。あなたの普段の最低血圧を教えてください。不明な方、回答したくない方は空白にしてください。（数値記入）

回答者数	55 人
平均値	76 mmHg
最大値	100 mmHg
最小値	58 mmHg

※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。

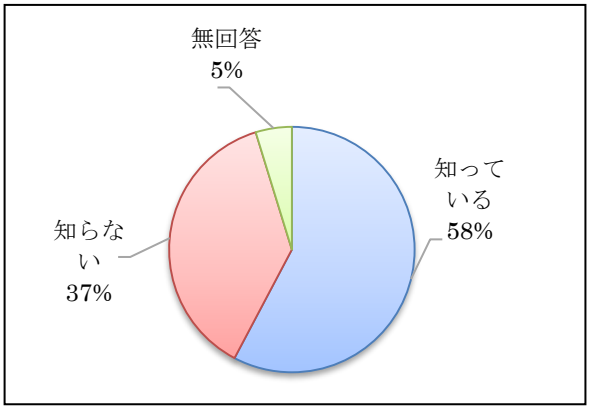
60～80 mmHg の間の多くが分布している結果となりました。



問３１．正常な血圧を知っていますか？（１つ選択）

１．知っている	97 人
２．知らない	63 人
無回答	8 人
合　計	168 人

「１．知っている」（97 人）と答えた方が全体の 58%で、半数以上の方が正常な血圧を把握されているという結果となりました。

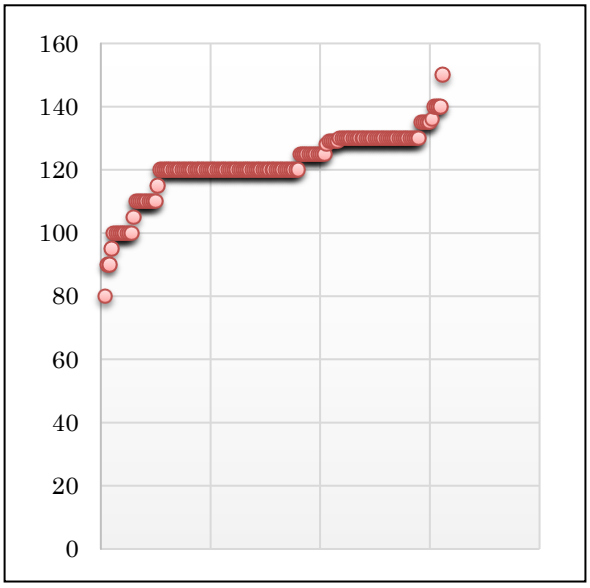


問３２．正常な最高血圧はいくつくらいだと思いますか？（正常な血圧値をご存知ない方も大体の予想でお答えください。）（数値記入）

回答者数	158 人
平均値	122 mmHg
最大値	180 mmHg
最小値	80 mmHg

※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。

家庭血圧の正常値は、最高血圧が 135 mmHg 未満、診察室血圧の正常値は、最高血圧が 140 mmHg 未満とされています。最も多かった回答は 120 mmHg で 64 人の方が選択されていました。

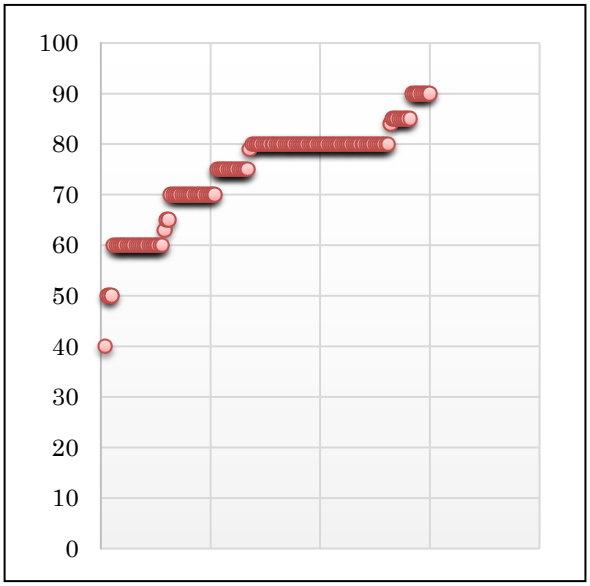


問３３．正常な最低血圧はいくつくらいだと思いますか？（正常な血圧値をご存知ない方も大体の予想でお答えください。）（数値記入）

回答者数	160 人
平均値	76 mmHg
最大値	110 mmHg
最小値	40 mmHg

※外れ値の影響を減らすため最大値及び最小値を除外して集計しています。

家庭血圧の正常値は、最低血圧が 85 mmHg 未満、診察室血圧の正常値は、最低血圧が 90 mmHg 未満とされています。最も多かった回答は 80 mmHg で 63 人の方が選択されていました。



問３４．その他、健診等に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

1. 健診の受診状況・意識

・職場の健診で定期受診につながった。年を取ってくると、色々な持病が出てくるし薬の量も増えてくる。それじゃダメだと奮起し、運動するようになった。と思う。
・会社で全員受けさせてもらえるのがありがたい。なかったら受けていないと思う
・毎年１回健診を受けると精神的に安心です。
・毎年健診を受けていると、過去との比較ができる。
・現在の自分の健康状態が知れてありがたい。

・市の健診を受けたことがなかったのですが、来年は受けようと思います。
・高血圧症、心臓の不整脈等のため毎月通院中で、血液検査、心電図等毎回実施している。
・自分は高血圧症や高脂血症の診断を受け、かかりつけ医と相談や診断を受けているので要望とかは特にありません。

2. 健診内容・環境に関する要望

・個人負担があってもいいから高度な脳梗塞や心筋梗塞を検査する検診があれば受診したい。
・健康診断の項目についてもっと詳しく分かりやすい表示があると良い。

3. がん検診・費用負担に関する意見

・集団検査以外にも、医療機関でがん検診（子宮頸がん）を無償で受けられたらいいなと思います。引っ越す前の市ではハガキが送られてきてそれを医療機関に持参すると無償で受けられました。
・以前は無料だったがん検診が、有料になっていてビックリしました。
・例年と変更点がある場合は、不利益なことほど広報して周知してほしいです。
・土日健診も用意されていて、Web 予約もできるので、受診しやすい体制は整っていると思います。健診後のアフターフォローもきちんと取り組まれていると感じています。
・ただ、がん検診の有料化後には受診者数が減少したとのことなので、今後の推移を見ながら、自己負担額については必要に応じて見直し等検討していただければと思います。
・乳がん、子宮頸がんの費用が無料ならもっと受診する人が増えると思う。非課税世帯などは免除があると良いと思う。
・受けたいがん検診の年齢が対象ではなく、受けるとしたら費用がかかるので、何歳からでも受けられるように助成金を出してもらえると嬉しいです。
・がん検診の無料クーポンがなくなったのがとても残念。
・お金がかかるならば家計の負担を考えるとやりたくない。無料ならば必ず受ける。
・毎年、市のがん健診を受けています。今年も異常なしでした。
・有料になり、より丁寧に対応して下さっていると思います。私は有料になっても必ず受けるので、これからも続けて下さい。

4. 日程・予約に関する要望

・休日や夜間に健診が受けられる医療機関があれば良いなと思います。
・医師会館の１日ドックは平日ばかりなのでせめて土曜日くらいは受診できる様にして欲しい。

5. 健診へのアクセス・支援

・これも受診によるポイント制による健康増進や送迎可能な対応があると良いです。
・集団健診はなんだか待ち時間があり、しんどくなっちゃいます。
・検診受けたら何かのクーポンがもらえる等があれば受診する人が増えるかもしれません。

6. 健康意識・生活習慣に関する意見

・睡眠（熟睡）が十分取れなくて困っています。途中、何回も目が覚める。平均睡眠時間は、３時間程度です。
・健康フェアのようなイベントを開いて健康相談や簡単な検査など無料で実施して予防に努める...
・市が主催する健康フェスタを開催して欲しい。
・食生活（栄養、カロリー）等の情報がもっとあっていいのではないだろうか？
「健康に勝る幸福は無し」といわれるように新居浜は良くしてくれているように思う。健康は自分で努力することだと思っている。

＜まとめ＞

本市の健康寿命の延伸を実現させるためには、若い世代からの健康意識の向上や、生活習慣病等の発症及び重症化予防が大変重要であり、そのためには、特定健診やがん検診、人間ドック等の受診による疾病の早期発見や、栄養、運動、喫煙等の生活習慣の改善が重要です。

まず、自分の健康状態を知る健診の受診状況についてですが、全体の８０％が毎年健康診査（血液検査）を受診していて、市の集団健診や職場等の機会を利用していました。また、がん検診を年１回、もしくは２年に１回受診していると答えた人は、全体の６１％でした。

がん検診を受けた理由としては、『早期発見だと治りが早いから』、『がん検診の対象年齢だから』、『健診項目にがん検診があったから』の回答が多く、がん予防への関心の高さが窺えた一方で、がん検診を受けたことがない人が２２％で、受診しない理由としては、『心配なときは医療機関を受診するから』『医療機関にかかっているから』等の回答がありました。

次に、高血圧症を含む生活習慣病は動脈硬化を進行させ、脳・心臓・腎臓の重篤な病気につながるため、生活習慣を改善し、血圧を適切にコントロールする必要があります。普段から血圧測定をしている人の割合は３３％と、家庭血圧などの血圧測定の機会が少ない状況が窺えました。食事習慣に関しては、栄養バランスを意識し、野菜を多くとるなど、健康的な食習慣を心がける人が多いようでした。運動習慣については、１日延べ３０分以上の運動を週２日以上行っている人の割合は４８％、全体の１日の平均歩数は５，３４８歩と、国の推奨歩数には満たない状況で、定期的な運動習慣の定着が課題となっています。

本市では健康づくり推進本部の生活習慣病予防グループにおいて、生涯を通じた生活習慣病予防対策を推進しております。脳・心臓・腎臓の血管を守るために実施している特定健診や、早期発見・早期治療を目的としたがん検診は、症状が出てからの受診では遅く、定期的な健診で健康状態を確認する必要があるため、健診カレンダーの配布や市役所・図書館等のロビー展示、出前講座での健康教育等、さまざまな機会を活用した健診の普及啓発に努めています。

また、今年度は健康づくり推進本部において、「運動習慣の改善」を共通課題としており、各種スポーツイベントなどを活用し、身体活動量の増加や運動習慣の定着の促進を図っております。また、１０月から１２月までを「運動強化月間」とし、コラムの配信やKENPOS内でのウォーキングイベントの実施を通じて、市民の運動習慣の改善に向けた働きかけを行っております。

今後も引き続き、健康寿命の延伸を目指して、地域や学校、職域等と連携し、健康相談や健診等の各種保健事業の強化充実と利便性の向上に取り組んでまいります。また、市政だよりや市ホームページ等の様々な媒体を通じて、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発やわかりやすい健康情報の発信に努めてまいります。

今回のアンケートへご回答、貴重なご意見をいただいた市政モニターの皆様には、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

（担当課：保健センター・国保課）